

■ 授業の開講について

(1) 学期

本学では、1つの学年を前期と後期に分け、学期ごとに単位を修得し、8学期(4年間)を積み重ねて卒業要件を満たす、 Semester制をとっています。

(2) 授業の開講形式

各授業科目は、次の3つのうち、いずれかの開講形式をとっています。

- ・ 半期開講：前期または後期の半年間で授業が完結される。
- ・ 集中（不定期）開講：前期又は後期に集中的(不定期)に授業が計画される。

■ 授業科目・単位制について

(1) 授業科目

本学の授業科目は学則上、必修科目・選択科目・自由科目に分類されています。

また、履修方法から【必修科目】【指定科目（必修に準ずる科目）】【選択科目】から構成し、学習目標の確実な積み上げを保証するために、学年により科目を指定しています。

それ以外に【自由科目】【資格課程必修科目】があり、教育課程以外として取り扱われる資格課程科目等で単位修得があっても卒業要件単位に充当されません。

(2) 単位制度について

大学における学修は、単位制で行われています。

① 単位制

単位制とは、修業年限（最低4年間）中に、卒業に必要な単位数を修得する制度です。

② 単位 授業時間

すべての授業科目に、単位数を設定しています。単位とは、科目を修得するために必要な学修量（時間）を数値で表したものです。本学では、1単位の授業科目を45時間の学修（授業時間＋自習時間）を必要とする内容をもって構成することとし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間に必要な学修等を考慮して次の基準により計算します。

本学では、1時限を2時間として計算しています。

授業種別	学修量
講義演習 2単位科目	原則として30時間の授業時間と60時間の自習時間を合わせた学修をもって2単位とする
実技実習 1単位科目	原則として30時間の授業時間と15時間の自習時間を合わせた学修をもって1単位とする
実技実習 2単位科目	原則として60時間の授業時間と30時間の自習時間を合わせた学修をもって2単位とする

③ 単位の認定

登録した科目を履修し終えた者に対して科目担当者が成績を評価し単位を認定します。

- 1) 単位は、授業科目を履修し、その試験に合格した者に与えられます。
- 2) 成績評価及び単位認定は、科目担当者が授業中の学修状況や試験で判断されます。
- 3) 履修した科目の成績は原則として、次学期の登録期間に発表します。
- 4) 修得した単位を取り消すことはできません。また、再履修もできません。

履修登録

大学における学修の特徴は、多くの授業科目の中から学生一人ひとりが履修科目を選択できることです。大学での学び方を、自らはっきりと定め、ガイダンス時の配付資料やシラバスを熟読し、時間割表を活用して履修（学修）計画を立てましょう。

(1) 履修登録について

履修登録は、自らの履修（学修）計画に基づき、授業科目について履修（授業を受ける）の意志表示をすることです。履修登録をしていない場合、その科目の履修が許可されません。履修登録ができていないことに気づかずに受講していた場合、受講は無効となり単位も修得できません。

(2) 履修登録の流れ

履修登録する科目は、自ら決定し、登録します。履修登録に関するガイダンスを、前期と後期の学期始めに実施します。履修登録は定められた期間内で行います。

学修案内(シラバス)・時間割り配付
履修計画の立案(専門科目時間割確認)(選択科目履修計画)(履修相談等)

指定科目の確認(履修科目表・専門科目登録票)
選択科目等の登録・・・履修登録票(OCRシート)

教務課へ提出

【履 修 登 録】

【履修登録結果発表(個人別履修科目表配付)】

訂正なし
【履修登録確定】

修正が必要な場合のみ
【追加登録】

(3) 履修登録の注意点

- ①必ず本人が責任を持っておこなってください。代理手続きは認めません。所定の期日までに履修手続きをおこなわなかった場合は、その学期の履修を放棄したものとみなします。
- ②履修登録は、原則として学期初めにおこないますが、一部、後期履修科目(集中講義など)の登録を年度初めや学期途中におこなう場合もありますので、注意してください。
- ③履修登録した科目以外の履修・単位認定は認められません。
- ④1つの時限に履修登録できる科目は1科目です。同一時限に重複して履修登録した場合は、重複している全ての科目が登録無効となります。(ただし、隔週開講科目を除く)
- ⑤各領域の受講指定科目は、原則として所定年次に配当された科目を履修するものとし、上級年次に配当された科目を履修することはできません。また、科目の特性により前提となる科目の単位修得を履修条件として定められている科目がありますので、シラバス等で確認してください。
- ⑥共通教育センター科目は、履修年次を記して、その年次に履修することを推奨しています。
- ⑦すでに単位を修得した科目は、再度履修登録はできません。
- ⑧履修登録が確定後の科目の変更、追加、取り消しは原則として認められません。
- ⑨1科目の履修希望者が受講可能人数をこえた場合、受講者数を制限します。
- ⑩半期で履修登録する総単位数は前期後期とも各20単位が適性と判断していますが、全学年24単位を上限として登録を認めています。科目の開講形態により、上限単位を超えて登録できる科目もあります。また、履修指導上必要と認める場合に上限単位数を超えて登録を許可することがあります。なお、「単位互換事業による他大学開講の科目」「博物館に関する科目」および「教職に関する科目」、「二級建築士受験資格講座科目」はこの単位数に含みません。
- ⑪学芸員課程、教職課程、二級建築士受験資格講座科目を履修登録する場合は、事前に履修の届けと納金の手続きを済ませなければなりません。詳しくは各課程のガイダンスを参考にしてください。
- ⑫履修登録後、所定の日に「履修登録確認表(個人別履修科目表)」を交付します。各自確認をし、修正が必要な場合は所定の期日までに教務課に申し出てください。この確認と申告を怠ったために生じる事態は、すべて学生各自の責任となります。
- ⑬2年生以上の学生で、所属しているコースや領域以外の専門科目を選択科目として履修を希望する場合は、願い出用紙を各学期の指定された履修登録期間に申し出る必要があります。
- ⑭3年次編入生は、他大学(短期大学などを含む)で修得した単位(既修得単位)のうち62単位を上限に本学で修得した単位として認定します。別に定める【既修得単位の認定に関する事項】に従って申請をしてください。
- ⑮次に該当する場合、他大学(短期大学などを含む)で修得した単位を本学で修得した単位として認定する場合があります。この場合の認定単位数は、大学コンソーシアム京都・環びわ湖大学・地域コンソーシアムの単位互換事業における他大学

開講授業、および本学の交換留学生制度により留学する外国の大学において修得した単位とあわせて60単位を超えない範囲となります。

- a) 他大学(短期大学などを含む)を卒業し、1年次から本学に入学した場合
 - b) 他大学(短期大学などを含む)を中途退学し、1年次から本学に入学した場合
- 別に定める【既修得単位の認定に関する事項】に従って申請をしてください。
- ⑩次に該当する学生は、履修登録に際して必ず領域(コース)教員に履修相談を受けてください。
- a) 前年度に必修科目の単位を修得できなかったため再履修する場合
 - b) 過去に修得できなかった必修科目を指定コース外で履修する場合
- ⑪その他、履修に関する相談は、教務課に問い合わせてください。
- *受講登録した学生は、成績評価対象者となります。登録確定した科目については、確実に学修していきましょう。

(4)履修の取消について

受講した科目の内容やレベルが登録時の予想と違う、健康上の理由で出席できないなどやむを得ない理由で履修中止を希望する場合は、履修取消(中止)届に理由を添えて提出します。

- ①履修の取消は、所定の期間に手続きをしなければいけません。
前期・・・4月下旬 後期・・・10月上旬
 - ②履修を取り消した科目をその学期中に再登録することはできません。ただし、次学期以降に改めて履修登録することは可能です。
 - ③次の科目は原則履修取消ができません。
・各学年で受講を指定された科目(専門科目を含む)
・単位互換事業科目(大学コンソーシアム京都・環びわ湖大学・地域コンソーシアム)
・資格課程必修科目
・インターンシップ科目
- *履修取消科目数が多い学生は、次学期登録時に履修相談をして適正な履修計画について指導を受けてください。

授業

(1)授業時間

本学の授業時間は、年間を通じて下記の通りです。

1時限	2時限	昼休み	3時限	4時限	5時限	6時限
9:10～10:40	10:50～12:20	12:20～13:20	13:20～14:50	15:00～16:30	16:40～18:10	18:30～20:00

- *有料の資格講座、プロジェクト科目授業等の時間として利用します。
- *キャンパスプラザ京都で授業がある科目については、プラザ科目時間となります。

(2)授業教室について

各学期に配付する全体時間割で確認をしてください。

(3)出席

授業は、教員と学生が直接人間的なふれあいを通して学問を教え学ぶ場であり、学生生活の基本になるものです。したがって、授業への出席は重要であり、自主的な学問への探究心なくしてその成果を期待することはできません。原則として出席がその授業回数 $\frac{2}{3}$ に達しない場合は、その科目についての単位認定は受けられません。

- ①本学には、「公欠」等の取り扱いはありません。
欠席の場合は、欠席届(学生支援窓口を設置)を担当教員へ提出します。また、欠席分の講義内容・課題は各自で担当者に確認をして補ってください。その科目を受講する意思を確認するものと判断されます。
*成安手帖の教員面談日・連絡先一覧を参照
- ②欠席が続いた場合、長期にわたって欠席する場合は、授業担当教員および学生支援部門と緊密な連絡をとり、その科目の履修と単位の修得に関して十分に相談してください。

(4)休講・補講について

休講(休校)

本学の休講(休校)については以下の①～③いずれかに該当する場合、その状況に応じた措置をとります。

- ①授業担当教員や大学の都合により授業を休講とする場合があります。その場合には成安情報サービス授業連絡や休講掲示で連絡します。また事情により所定授業開始時間から30分を経ても担当教員が出講しない場合は「自然休講」となります。(教務課で確認が必要)
- ②気象庁が発表する気象警報において、「滋賀県大津市南部」、「滋賀県大津市北部」のいずれかの地域に、特別警報、暴風警報、または暴風雪警報のいずれかが発令された場合は下記の措置をとります。

午前7時までに特別警報、暴風警報、暴風雪警報が解除された場合	➡	平常授業
午前10時までに特別警報、暴風警報、暴風雪警報が解除された場合	➡	午前中(1・2限目)のみ休講・施設使用禁止。 3限目より開講・施設使用可
午前10時の時点で特別警報、暴風警報、暴風雪警報が解除されなかった場合	➡	終日 休校・休講・施設使用禁止
授業中に特別警報、暴風警報、暴風雪警報のいずれかが発令された場合	➡	発令以降、休校・休講・施設使用禁止

- ③下記の事情により、休校・休講・施設使用禁止が適切であると大学が判断した場合。

休校・休講・施設使用禁止等の連絡については、成安情報サービス・Gmail等で連絡します。

- ・自然災害等(台風、雷、洪水、暴風、豪雨、豪雪、高潮、津波、噴火、その他異常な自然現象など)により緊急事態と判断した場合。
- ・自然災害やストライキによりJR湖西線、JR京都線、JR琵琶湖線のいずれかが運行休止(または長時間の運転見合わせ)になり、かつバス等の代替手段がない場合
- ・その他の事情により、休校・休講・施設使用禁止が適切であると学長が判断した場合。

これらに関する情報等は、成安情報サービス・Gmail等でお知らせいたします。

※これらの緊急事態や河川の氾濫、道路の冠水や浸水、または鉄道への影響により大学から自宅への帰宅が困難な場合や「生命・身体に危険が生じる恐れがある」と判断した場合には、学内の安全な場所に避難するなど大学の指示に従ってください。非常時には「身を守る行動」を優先してください。市町村などからの避難勧告・避難指示などの情報に留意し、少しでも安全な場所に移動するなど直ちに「身を守る行動」をとってください。

補講

前記の理由等により、休講となった授業については、授業期間内に補講を行います。補講については授業ごとに異なりますので、各自授業連絡等で休講となった科目担当者の指示に従ってください。

(5) 授業連絡

授業に関する連絡は、授業中に連絡事項を伝えるほかに事務室前掲示板・成安情報サービスの授業連絡等を通じて情報を提供します。その他、授業担当者の指示に従ってください。

試験・成績について

(1) 試験について

試験は科目担当者が、筆記試験、レポート試験、課題作品提出、合評、口頭試問等により行います。試験の実施については、科目の到達目標により時期が異なります。

保留該当者試験

保留該当者試験は、やむを得ない理由で単位の修得が困難であると科目担当者が判断した者に対して行われます。

① 保留該当者発表 (前期は8月・後期は2月)

科目担当者が保留該当【W】となった科目については再度課題を提出することで再評価を受けることができます。学生現住所へ郵送通知・成安情報サービスの掲示板で学籍番号のみ掲載

② 保留該当者試験 (前期は8月・後期は2月)

各学期1回行われます。受験する場合は、該当科目について教務課窓口で手続きをして各担当者に再評価の依頼を行います。手続きを済ませないで課題を直接教員に提出した場合は無効となります。

手続き1) 受験願いの提出 及び受験料納付 (1科目2000円)

手続き2) 課題提出・試験受験

* 保留該当者試験を受験しても学習目標の最低限の理解が得られていないと担当者が判断した場合は不合格【D】となります。

(2) 評価

① 成績通知書に表示する記号は、次のとおりです。

評価	素点	評価基準の目安
S (秀)	100~90	学習目標の内容を理解し修得したものと認められる特に秀でた成績
A (優)	89~80	学習目標の内容を理解し修得したものと認められる優れた成績
B (良)	79~70	学習目標の根幹的な部分は理解し修得したものと認められる妥当な成績
C (可)	69~60	学習目標の最低限の理解は得られたものと認められる成績
W (保 留)	成績保留	保留該当者試験は、やむを得ない理由で単位の修得が困難であると科目担当者が判断
D (不 可)	59以下	学習目標の最低限の理解が得られていないと認められる成績
N (認 定)	認 定	*既修得単位 認定 *一括認定 *指定した資格検定合格者への単位認定

(3) GPA制度について

履修指導にいかすためにGPA (Grade Point Average) の制度を導入します。詳細については、最終項目で紹介いたします。

(4) 成績発表

履修科目の成績は、学修状況の記録として単位を修得できなかった科目も含め「成績通知書」に表示され各学期の履修登録期間に配付します。また、学期ごとに保護者(保証人)にも通知します。

成績評価について確認事項がある場合は、次の学期登録期間終了までに所定の様式で申し出ることができます。

進級・卒業について

- (1) 進級について
成績単位の修得状況にかかわらず2年次及び3年次へは進級します。ただし4年次に進級するためには別に定める進級判定基準を満たさなければいけません。4年次への進級を不可と判断された場合は、原級(3年次)に留まらなければいけません。

進級判定基準

- ① 専門研究課程にすすむ学力を有していること
 - ② 総修得単位数が76単位以上であること
 - ③ 領域の専門科目及び領域の受講指定する芸術応用科目の修得単位数が54単位以上であること
- *1 ①～③の要件を充たさない場合は面接による審査を行う
*2 但し総修得単位数が51単位以下もしくは領域の専門科目及び領域の受講指定する芸術応用科目の修得単位数が43単位以下の場合は、書類審査のみで自動的に3年次留年とする

- (2) 卒業について
本学に4年以上在学し、卒業に必要な単位数を修得しなければなりません。

- (3) 卒業の時期について
- ① 卒業の時期は、後期末(3月)または前期末(9月)です。
 - ② 後期末(3月)：後期終了時において卒業要件を充足した場合、卒業とします。
卒業判定結果については、2月下旬に保証人宛に通知します。
 - ③ 前期末(9月)：前期終了時において卒業要件を充足した場合、卒業とします。
卒業判定結果については、9月上旬に保証人宛に通知します。

卒業見込み証明書発行基準

4年次に進級した学生で一定の科目・単位数の修得要件を満たした者に卒業見込証明書を発行します。

- ① 卒業見込み者とは
卒業見込者とは、在学3年次終了時の修得した単位数および4年次に卒業要件を満たす履修登録をおこなったことが確認された者とします。
- ② 判定時期について
本学は Semester 制を採用しているため「卒業見込判定」を4年次の前期及び後期におこないます。
前期の判定では、前期の成績および後期の履修登録が確定していないため暫定的な判定となります。(9月卒業は除く)

判定対象	判定時期	判定対象卒業時期
4年次前期	4月下旬(前期履修登録終了時)	9月卒業・3月卒業
4年次後期	9月下旬(後期履修登録終了時)	3月卒業

成安造形大学GPAについて

GPAとは、Grade Point Average（成績加重平均値）のことで、各科目の評点（100点満点）をグレードポイントに換算しなおし、その合計を科目の総単位数で割り、1単位のグレードポイントの平均値を算出するものです。

高校まではすべての学生が同じ教科・科目を履修しますから、単純に成績を比較できました。大学では、個々の学生の所属領域（コース）や目標に応じて、履修する科目を選択する自由度が高く、異なる科目を修得した様々な学生を単純に比較することができません。多様な学習環境を持つ大学では「学ぶ量」だけではなく「学ぶ質」を端的に評価できる指標が必要であり、GPAはそれを提供する手段です。専門性や就学目標からくる履修状況の違いを吸収し、公平さを与えながら学業成績評価の指標として使われるものであり、現在多くの大学でこのポイントを活用して大学での学びを確かなものにする動きがあります。

①履修登録したすべての科目を対象に算出します。単位を修得できなかった不合格科目も成績に加算されます。従って不合格科目が多いとそれだけGPAが低くなります。ただし、履修を取り消した科目、認定科目並びに卒業要件対象外の資格課程必修科目は、算出対象から除きます。

②GPA算出について

素点	評価	グレードポイント
100～90	S（秀）	4
89～80	A（優）	3
79～70	B（良）	2
69～60	C（可）	1
59点以下	D（不可）	0
認定科目 資格課程必修科目		対象外

$$GPA = \frac{S \text{ の修得単位数} \times 4.0 + A \text{ の修得単位数} \times 3.0 + B \text{ の修得単位数} \times 2.0 + C \text{ の修得単位数} \times 1.0}{\text{総履修登録単位数（「D」の単位数含む）}}$$

③学修指導について

本学では、平成29年度から各学期のGPA数値が1.5未満の学生に対して、個別に履修指導を行い履修計画の見直しを行います。

また4学期連続してGPAが1.0未満の学生に対して学長が退学勧告を行います。

*各学期のGAPについては、配付する成績通知書で確認することができます。

④その他GPAの利用について

・本学の給付奨学生並びに特待生の適正審査の資料

・外国人留学生の授業料減免、学修状況確認に関する審査資料

・就職や進学で成績順位の掲示を求められる場合は、学年別のGPAによる成績順位を算出します。

カリキュラム

芸術学部芸術学科

*平成25年度以前のカリキュラムについては、過去のシラバスで確認ができます。

人材育成目的

「芸術による社会への貢献」という基本理念(教育理念)の下、「誠と熱」を持ち、公正さと創造性を兼ね備える、発想力・提案力・技術力に優れた清廉な人材の育成を目的とする。

ディプロマポリシー（学位授与方針）

成安造形大学 教育目標(学士課程の学習成果に関する指針＝学位授与の方針)

- 1 知識・理解(認知的領域)
 - (1) 芸術分野における基本的な知識を体系的に理解できる。
 - (2) 芸術分野の知識と自己の存在を歴史・社会・自然と関連付けて理解できる。
 - (3) 多文化・異文化を理解し、多様性を尊重できる。
- 2 技能(精神運動的領域)
 - (1) 日本語や特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。自分の考えを伝えることができる。
 - (2) 情報通信技術を利用して、多様な情報を収集し、的確に把握し、発信することができる。
 - (3) 専門分野において基礎的な造形能力を身につけている。
 - (4) 問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理することができる。
論理的思考力によって、解決のための計画を立案し、実行できる。
- 3 態度・志向性(情動的領域)
 - (1) 自らを律して行動できる。指示を待つのではなく、やるべきことに積極的に取り組める。
 - (2) 他者と協調して行動できる。他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。
 - (3) 卒業後も自らを律して学習できる。
 - (4) 自己の良心と社会の規範に従って、誠意と熱意を持って行動できる。
 - (5) 社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を理解し、社会に貢献できる。
- 4 創造性(総合的・実践的領域)
 - (1) 獲得した知識・技能・態度等を総合的に活かし、研究制作成果を提示できる。
 - (2) 専門分野における経験を活かし、自らが立てた課題において創造的提案ができる。

カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

- 1 学修の順次性を明確にし、総合的な造形的基礎と高度な専門性を養成するカリキュラムを構築します。
- 2 導入教育を充実させて社会人として必要な基礎力と対課題能力を養成し、それぞれが学ぶ専門分野と有機的にむすびついた高度な社会実践力を確立できる科目を設置します。

この編成方針の下に芸術学部芸術学科の教育課程は、1年前期・後期を《専門導入課程》、2年前期・後期3年前期・後期を《専門基盤課程》、4年前期・後期を《専門研究課程》の3段階にて編成します。また、各科目を「学部共通科目」と「専門科目」に分類します。

「学部共通科目」では、「基礎科目群」、「応用科目群」、「教養科目群」、「社会実践科目群」の4つを大きな柱としています。

「基礎科目群」では、4年間の大学生活を自主的かつ円滑に進めるために必要な基礎的学力を身につけるスタートプログラム科目や芸術に対する認識の基盤となる理論の初歩を幅広く学び、広範な造形活動を支える芸術基礎科目、所属する領域に関係なく、基本的な造形力を幅広く身につけるファウンデーション科目で構成されています。

「応用科目群」では、広範な芸術活動の専門性を理論的、実践的に支え、各領域の専門基盤課程、専門研究課程において必要とされる専門的知識・技能を習得するための芸術応用科目を提供します。

「教養科目群」には多様な知識・教養を学ぶことにより、多角的な視野や豊かな知性、柔軟な思考力を身につけ、各学生が幅広い視点から造形活動を捉えることができる資質を獲得するための教養科目、異文化コミュニケーション能力を身につけることにより、グローバルな視点に基づく思考力や創造力を獲得するための外国語科目があります。また、大学コンソーシアム京都や環びわ湖大学・地域コンソーシアムによる単位互換協定を締結した滋賀県、京都府の大学、短大の科目を受講することもできます。

「社会実践科目群」は、社会との関係のなかで自己を確認し、卒業後の自己実現のために寄与する科目群です。

地域貢献・プロジェクト科目は、「芸術による社会への貢献」を実現する科目として「芸術力」要請をもとに実践的な知識・技術を活用し、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、問題解決能力に優れた社会の即戦力となる人材育成を目的としています。また、キャリアデザイン科目は、キャリア形成を考えるうえで前提となる「自己分析・自己発見」「社会を知る」ということを段階的に学ぶことにより、学生が各々の目標に合わせたキャリアデザインを構築するための科目です。

「専門科目」では、それぞれに「専門導入科目群」、「専門基盤科目群」、「専門研究科目群」の3つを段階で履修します。

「専門導入科目群」では専門分野を修めるために必要不可欠な最低限の知識や技能を養うための必要不可欠な実習科目、演習科目を、「専門基盤科目群」では各自の専門領域の基盤となる知識や技術を修得することで、各自の専門性を深く究めてもらうための実習科目と演習科目を、「専門研究科目群」ではゼミ段階的な履修や選択的な履修をもとに、各自の専門領域にかかわる知識や技術を広く修得することを通して、より高度な表現力や思考力を獲得するとともに、各自の専門性を深く究めてもらうための研究科目、卒業制作を設置しています。

科目の種別及び受講科目の考え方

授業科目は、必修科目・指定科目(必修科目に準ずる)・選択科目から構成しています。また、学習目標の確実な積み上げを保証するために、受講科目を学年で指定しています。

必修科目

卒業するために単位修得が必要な科目です。この科目は、各領域で指定しているスタンダードカリキュラムを学んだのち、最終学年で自分の専門分野の集大成として学びます。

◎専門研究科目群	○専門研究科目	【2科目 10単位】 卒業研究1・2	*履修科目表に印字	履修取消はできません
----------	---------	-----------------------	-----------	------------

指定科目(必修科目に準ずる科目)

芸術学を専門とする本学の学びを確実にするために必要な科目を指定科目としています。この科目は、各領域(コース)の専門性を取得する為に指定している科目及び本学の学びの質を保証する科目から構成されており、各学年で受講が指定されています。

領域受講指定科目

各領域(コース)の専門的な内容をスタンダードカリキュラムとして受講科目を指定して提供しています。領域の専門性を取得するのに必要な科目であるため単位修得を原則とします。単位修得できなかった場合は、必ず領域教員から再履修指導を受けます。

◎専門導入科目群	○専門導入科目	【6科目 12単位】 領域基礎造形実習1~4、領域別演習1・2	*履修科目表に印字	履修取消はできません
◎専門基盤科目群	○専門基盤科目	【16科目 32単位】 コース別実習1~8、 コース別演習1~8	*履修科目表に印字	履修取消はできません
◎応用科目群	○芸術応用科目	【5科目 10単位】 領域別概論、領域が指定する理論科目	*履修科目表に印字	履修取消はできません

学部共通受講指定科目

本学の学びの質を保証する基礎的な要素を[大学入門][学びの基礎][社会貢献]として共通教育センターが受講科目を指定して提供しています。単位修得を原則とします。

◎基礎科目群	○スタートプログラム科目	【6科目 6単位】 大学入門1・2、スタディスキル実習1~4	*履修科目表に印字	履修取消はできません
	○ファウンデーション科目	【6科目 6単位】 ファウンデーション実習A1~A4、 ファウンデーション実習B1・B2	*履修科目表に印字	履修取消はできません
◎社会実践科目群	○地域貢献・プロジェクト科目	【1科目 2単位】 コミュニティデザイン概論	*履修科目表に印字	履修取消はできません
	○キャリアデザイン科目	【2科目 2単位】 キャリアデザイン概論1・2	*履修科目表に印字	履修取消はできません

選択受講指定科目

本学の学びの質を発展的に保証する要素として[芸術基礎][芸術応用][社会貢献]として共通教育センターが下記の科目分類ごとに必要単位数を指定しています。

◎基礎科目群	○芸術基礎科目	【1年次に4科目 8単位以上を選択し受講すること】 東洋・日本美術史概説A/B、西洋美術史概説A/B、 デザイン史概説A/B
◎応用科目群	○芸術応用科目	【2科目 4単位以上】 所属する領域で受講指定する 領域別概論、領域論1～4以外に 応用科目群の中から2科目4単位を選択して受講すること
◎社会実践科目群	○地域貢献・プロジェクト科目	【1科目 2単位以上を選択し受講すること】 コミュニティデザイン論1・2、近江学A・B、琵琶湖の民俗史 プロジェクト演習1A～4E
	○キャリアデザイン科目	【2年次以降の科目より、1科目 2単位以上を選択し受講すること】 キャリアデザイン論A・B、就業力育成論1～4・演習A～D、 ポートフォリオ演習、インターンシップA・B

選択科目

芸術学の専門に関連する科目を自主的に選択して学べる科目です。[幅広い教養][多文化・異文化理解とコミュニケーション][他大学の学び]をカテゴリとして提供しています。

◎教養科目群	○教養科目
	○外国語科目
	○単位互換事業科目

*単位互換事業科目については、受講が許可された場合の[履修取消]は認めません。

*領域・コースが学生の専門分野の学習において推奨する科目は、領域推奨科目として紹介します。

*共通教育センターが学生のめざすものによって推奨する科目は学部共通推奨科目として紹介します。

(キャリアデザイン科目、学芸員課程科目、教職課程科目 等)

卒業に必要な単位数

必修科目	10単位
指定科目(必修科目に準ずる)	114単位以上 ●114単位には、 領域受講指定科目の専門導入科目12単位、専門基盤科目32単位、芸術応用科目10単位及び 学部共通科目の芸術基礎科目8単位以上、芸術応用科目4単位以上、地域貢献・プロジェクト科目 4単位以上、キャリアデザイン科目4単位以上を必要とする。
選択科目	※平成29(2017)年度以前の入学生は、キャリアデザイン科目は2単位以上

1、専門科目

専門科目とは、各領域がその領域に所属する学生に対して提供する科目で、専門導入科目、専門基盤科目、専門研究科目から構成され、各領域・各コースの専門分野を修めるために必要不可欠な科目です。学びの順次性により各学年・各学期に配当され履修します。各領域とも4学年(8学期)で合計54単位となります。

2、共通教育センター科目(学部共通科目)

共通教育センター科目(学部共通科目)とは、基礎科目群、応用科目群、社会実践科目群、教養科目群から構成され共通教育センター所属の教員がこの科目群をバックアップしています。

①基礎科目群

芸術大学に進学した学生が等しく身につけるべき知識や技能を修得するために1年生全員が学ぶ科目で以下の科目で構成されます。

スタートプログラム科目……4年間の大学生活を自主的かつ円滑に進めるために必要な基礎学力を身につけるための科目です。

芸術基礎科目……芸術に対する認識の基盤となる理論の初歩を幅広く学び、広範な造形活動を支えるための科目です。

ファウンデーション科目……所属する領域に関係なく10クラスに編成されて、専門分野の枠を超えた教員組織の指導のもと、美術経験の多少にかかわらず、表現することの面白さを体感することを通して芸術学部共通の造形基礎を学ぶ科目です。「描く」「つくる」「発想する」の3つの基本的なテーマに沿って、実技、講義、ワークショップ、発表、合評などで授業を構成し、表現課程での工夫や発見を通して、視野を広げていく楽しさと柔軟な思考を養う「ファウンデーション実習A」やコンピュータの基礎を学ぶ「ファウンデーション実習B」があります。

②応用科目群

広範な芸術活動の専門性を理論的、実践的に支え、各領域の専門基盤課程、専門研究課程において必要とされる専門的知識・技能を養うために必要不可欠な科目群です。

③社会実践科目群

「芸術による社会への貢献」を実践する科目群で自分の将来の姿を実現に近づけるための、キャリア支援科目と芸術による社会貢献を実現するプロジェクトを単位化する地域貢献・プロジェクト科目があります。

④教養科目群

各学生の専門や志向に有益な学問領域について自主的に学ぶことができる科目群で、教養科目、外国語科目、単位互換事業科目で構成されます。

3、学芸員課程科目

学芸員課程科目は、博物館法をはじめとする関連諸法規にもとづいて開講されています。

「学芸員課程履修届」を提出した学生のみが履修できます。なお、学芸員課程科目を卒業のために必要な単位として算入することはできません。

4、教職課程科目

教職課程科目は、教育職員免許法をはじめとする関連諸法規にもとづいて開講されます。

「教職課程履修届」を提出した学生のみが履修できます。なお、教職課程科目は卒業のために必要な単位として算入することはできません。

5、二級建築士受験資格講座科目

二級建築士、木造建築士の受験資格を得るために必要な本学が指定する科目で、「二級建築士受験資格講座履修届」を提出した学生のみが履修できます。なお、二級建築士受験資格講座科目は卒業に必要な単位として算入することはできません。

■総合領域人材育成目標について

芸術・文化・社会について総合的かつ横断的に学ぶことで、広い視野と発想で社会のさまざまな問題に取り組み、解決へと導く力を獲得し、世の中に新しい価値をもたらす提案ができる人材を育成します。

■総合領域の特色・各課程での学びについて

コト・モノ・情報のそれぞれの分野でデザインを行うプロセスを繰り返し学び、社会の問題を解決する思考を獲得します。また横断的な学びから生まれる多様な視点により、コミュニケーションをとおして、情報を整理する編集力や新しい考え方をまとめる企画力、そして実現するためのマネージメント力などを4年間をとおして学びます。

●専門導入課程（1年生）

調査や取材で得られたものごとを言葉や絵や図で表しまとめて発表する、コミュニケーションやプレゼンテーションの基礎力と、世の中のものごとをとらえる様々な視点を学びます。また、個々の制作活動をポートフォリオにまとめ、客観的に考察することで4年間の履修計画を立てます。

●専門基盤課程（2～3年生）

「調査」から始まり「問題の発見」、「発想」、「構築」、「試行」というプロセスを繰り返し学び、コト・モノ・情報の分野において実践的で創造的な問題解決に取り組みます。また情報処理やプレゼンテーション、コミュニケーションのためのITスキルを習得します。他分野の履修体験を含めた幅広く総合的な視点を獲得して、創造的な発案をおこない実行するためのプロデュース能力につなげます。

●専門研究課程（4年生）

4年間の学びの集大成として、各自が設定したテーマに沿って実践的な研究をおこない、社会に対して新しい価値観を提案します。

芸術学科 総合領域 平成30(2018)年度以降入学生

カリキュラム	単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	受講方法
	必修	指定	選択		1年	2年	3年	4年			
専門導入科目	基礎造形実習1A		2	実習	○				*学部共通科目 イラストレーション/美術領域 開講科目		基礎造形実習1~4 計8単位を修得すること
	基礎造形実習2A		2	実習	○				*学部共通科目 美術/空間デザイン領域 開講科目		
	基礎造形実習3A		2	実習	○				*学部共通科目 イラストレーション/情報デザイン/空間デザイン領域 開講科目		
	基礎造形実習4A		2	実習	○				*学部共通科目 空間デザイン領域開講科目		
	基礎造形実習2B		2	実習	○				*学部共通科目 イラストレーション領域開 講科目		
	基礎造形実習4B		2	実習	○				*学部共通科目 イラストレーション領域開 講科目		
	基礎造形実習3C		2	実習	○				*学部共通科目 美術領域開講科目		
	基礎造形実習4C		2	実習	○				*学部共通科目 美術領域開講科目		
	基礎造形実習1D		2	実習	○				*学部共通科目 情報デザイン領域開講科目		
	基礎造形実習2D		2	実習	○				*学部共通科目 情報デザイン領域開講科目		
	基礎造形実習4D		2	実習	○				*学部共通科目 情報デザイン領域開講科目		
	基礎造形実習1E		2	実習	○				*学部共通科目 空間デザイン領域開講科目		
	総合デザイン基礎演習1		2	演習	○						
総合デザイン基礎演習2		2	演習	○							
専門基盤科目	総合デザイン演習1		2	演習	○						領域の専門基盤科目を 20単位修得すること
	総合デザイン演習2		2	演習	○						
	総合デザイン演習3		2	演習	○						
	総合デザイン演習4		2	演習	○						
	総合デザイン演習5		2	演習			○				
	総合デザイン演習6		2	演習			○				
	総合デザイン演習7		2	演習			○				
	総合デザイン演習8		2	演習			○				
	総合デザイン実習1		2	実習	○						
	総合デザイン実習2		2	実習			○				
						○				他領域の専門及び 総合プロジェクト演習 から12単位を選択して 修得すること	
						○					
						○					
						○					
総合プロジェクト演習1~5					○	○	○				
専門研究	卒業研究1		4	演習				○			領域の専門研究科目 10単位を修得すること
	卒業研究2		6	演習				○			
芸術応用科目	総合デザイン概論		2	講義	○						領域の芸術応用科目 2単位及び他領域が 受講指定する芸術応用 科目から8単位を修得 すること
							○				
								○			

芸術学科 総合領域 総合デザインコース
平成30(2018)年度以降入学生 スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
学修システム・カリキュラム	/ 必修科目 10単位							卒業研究1	卒業研究2
		総合デザイン基礎演習1 言葉によるコミュニケーション	総合デザイン基礎演習2 スケッチによるコミュニケーション	総合デザイン演習1 伝えるための情報収集と整理	総合デザイン演習2 気づきからデザインへ	総合デザイン演習5 デザインの再解釈	総合デザイン演習7 サービスのデザイン		
平成30(2018)年度以降入学生 総合領域	↑ 領域指定科目 / 54単位	基礎造形実習 基礎的造形力育成	基礎造形実習 基礎的造形力育成	総合デザイン演習3 伝えるための情報収集と整理2	総合デザイン演習4 webとデザイン	総合デザイン演習6 コトのデザイン	総合デザイン演習8 社会のためのデザイン		
		基礎造形実習 基礎的造形力育成	基礎造形実習 基礎的造形力育成	1~2年生対象の他領域専門科目(実習、演習)	総合デザイン実習1 編集デザイン	総合デザイン実習2 トータルデザイン	1~3年生対象の他領域専門科目(実習、演習)		
共通教育センター科目	↓ 領域指定科目 / 54単位			1~2年生対象の他領域専門科目(実習、演習)	1~2年生対象の他領域専門科目(実習、演習)	1~3年生対象の他領域専門科目(実習、演習)	1~3年生対象の他領域専門科目(実習、演習)		
				総合プロジェクト演習1~5					
学芸員課程科目	/ 10単位	総合デザイン概論 総合デザインとは何か		領域別理論科目	領域別理論科目	領域別理論科目	領域別理論科目		
				大学入門1	大学入門2	コミュニティデザイン概論			
教職課程科目	学部受講指定科目	スタディスキル実習1	スタディスキル実習3						
		スタディスキル実習2	スタディスキル実習4						
二級建築士受験資格講座科目	共通教育センター(学部共通)科目	ファウンデーション実習A1	ファウンデーション実習A3						
		ファウンデーション実習A2	ファウンデーション実習A4						
		ファウンデーション実習B1	ファウンデーション実習B2						
		キャリアデザイン概論1	キャリアデザイン概論2						
	選択受講指定科目	東洋・日本美術史概説A	東洋・日本美術史概説B	← 芸術基礎科目 4科目8単位以上					
		西洋美術史概説A	西洋美術史概説B						
		デザイン史概説A	デザイン史概説B						
				芸術応用科目 2科目4単位以上					
				地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上					
				キャリアデザイン科目 1科目2単位以上					

■総合領域人材育成目標について

芸術・文化・社会について、総合かつ横断的に学ぶ中から造形力や広い視野と基礎力を修得し社会動向に即応しながら、コト・モノ・情報を複合的に「デザイン」することで、あらたな価値の推進ができる人材を育成します。

■総合領域の特色・各課程での学びについて

デザインやアートの世界を広く知り、埋もれた価値を見つけ出すこと、さまざまなコト・モノ・情報をむすびつけ、ことばや視覚情報を駆使しひとつの何かにまとめること。

それを社会に伝えていくのがデザインプロデュースです。作品制作というより、企画やアイデアを練り上げ、コミュニケーションをとりながら、社会に提案していく力、伝えあう力を、4年間で学びます。

●専門導入課程（1年生）

ことばによるコミュニケーション、プレゼンテーション力を身につけます。芸術、教育、地域に連動する文化活動やアートプロデュースを学びます。プログレスファイルの役割と活用方法を理解し4年間の履修計画を立てます。

●専門基盤課程（2～3年生）

市場調査を行い、それをまとめる編集能力を培います。

仮想ブランド、イベント企画のプランニングなど、与えられたテーマに沿ったグループワークによる企画提案ができる基礎力を身につけます。

●専門研究課程（4年生）

4年間の集大成として、各自が設定したテーマにそった企画を立ち上げ、社会に新たな価値観を提案します。企画書を作成し、その内容を実現するためのデザインプロデュースを実践研究します。

■ 芸術学科 総合領域 デザインプロデュースコース
平成29(2017)年度以前入学生 スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専攻科目 /10単位	領域指定科目 /54単位							卒業研究1	卒業研究2
		プロデュース基礎演習1 言葉によるコミュニケーション	プロデュース基礎演習2 取材とプレゼンテーション	プロデュース演習2 市場分析と商品企画	プロデュース演習1 情報収集と編集デザイン	プロデュース演習5 アートをデザインするための調査分析	プロデュース演習7 商品プロデュース、トータルデザイン		
専攻科目 /54単位	領域指定科目 /54単位	基礎造形実習 基礎的造形力育成	基礎造形実習 基礎的造形力育成	プロデュース演習3 映像メディアプロデュース論	プロデュース演習4 商品開発の流れ	プロデュース演習6 アートをデザインするためのプロトタイプ制作	プロデュース演習8 コンセプト&プランニング		
		基礎造形実習 基礎的造形力育成	基礎造形実習 基礎的造形力育成	1~2年生対象の他領域専門科目(実習、演習)	1~2年生対象の他領域専門科目(実習、演習)	1~3年生対象の他領域専門科目(実習、演習)	1~3年生対象の他領域専門科目(実習、演習)		
		デザインプロデュース演習1~5							
芸術応用科目 /10単位	領域指定科目 /54単位	領域別概論		領域別理論科目	領域別理論科目	領域別理論科目	領域別理論科目		
				コミュニティデザイン概論					
専攻科目 /10単位	領域指定科目 /54単位	大学入門1	大学入門2						
		スタディスキル実習1	スタディスキル実習3						
専攻科目 /10単位	領域指定科目 /54単位	スタディスキル実習2	スタディスキル実習4						
		ファウンデーション実習A1	ファウンデーション実習A3						
専攻科目 /10単位	領域指定科目 /54単位	ファウンデーション実習A2	ファウンデーション実習A4						
		ファウンデーション実習B1	ファウンデーション実習B2						
専攻科目 /10単位	領域指定科目 /54単位	キャリアデザイン概論1	キャリアデザイン概論2						
		東洋・日本美術史概説A	東洋・日本美術史概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上					
西洋美術史概説A	西洋美術史概説B								
専攻科目 /10単位	領域指定科目 /54単位	デザイン史概説A	デザイン史概説B						
		芸術応用科目 2科目4単位以上							
		地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上							
		キャリアデザイン科目 1科目2単位以上							

■イラストレーション領域人材育成目標について

イラストレーションは社会の様々な分野で、情報伝達、エンターテインメント、文化活動など、実用的・文化的に広く活用される具象図像表現です。描写、メディアデザイン、構成など、幅広いイラストレーションの表現力と知識を身に付け、新しい時代を担っていく人材を育成します。

■イラストレーション領域の特色・各課程での学びについて

現代的な絵画表現であるイラストレーションは、印刷技術などのメディアの発達とともに、独自の進化を遂げてきました。今日ではイラストレーションを

- 「情報を伝達すること、具体的な意味を説明することを目的とする絵」 (挿絵や図解、広告ポスターなど)
- 「複製され伝搬されることを目的とし、メディアのために描かれる絵」 (印刷物やWEBなど)
- 「装飾や娯楽性を目的とする絵」 (装飾絵画や壁画、宣伝キャラクターなど)

と定義できます。

また、現代ではこれらの機能の複合的な応用として、マンガやアニメーション、ゲームといったコンテンツの表現、キャラクターグッズなどの立体商品としても欠かせないものとなっています。

こういった多様性、変化し続ける柔軟性こそ、イラストレーションの魅力といえるでしょう。

こういったことを背景に、イラストレーション領域では、「描く力」を基礎とした、以下の9つのコースを設定します。

- メディアイラスト 印刷に代表されるメディアで使われるイラストレーションの探求
- アートイラスト 装飾などに使われる、アート作品としてのイラストレーションの探求
- デジタルイラスト ゲームやネットなど、エンターテインメント分野で使われるイラストレーションの探求
- マンガ・絵本 絵で表現する物語コンテンツの探求
- アニメーション イラストレーションで作る映像表現の探求
- 3DCG 映像やゲームなど、仮想現実を構築する技術の探求
- フィギュア・トイ 立体造形表現の探求
- 風景イラスト 現場体験を重視した、風景表現の探求
- ネイチャーイラスト 科学知識を基礎とした、生物表現の探求

2年生以降、いずれかのコースに所属しつつ、他のコースや共通する授業も履修することで、幅広い知識と幅広い表現を身に付けます。

●専門導入課程 (1年生)

全てのコースの要素が含まれる、共通の導入授業を受講します。これにより表現の基礎を身に付けつつ、幅広いイラストレーションの可能性を知ります。そして2年以降のコース選択を考えます。

●専門基盤課程 (2～3年生)

イラストレーションは時代によって、表現もメディアも活用方法も様々に変化します。それに対応するには「基本的な表現力」「ジャンルに対する専門性」「メディアに対する知識」が必要です。また、新しい表現、自分独自の表現には、他ジャンルへの興味も欠かせません。そこで専門基盤課程では、以下のようなカリキュラム構成を採用しています。

- 2年生進級時にひとつのコースを選択、4年まで通して専門の知識と技術を身につける。
- 同時に、コース以外の実習を、自分の興味に応じて選択履修することで、表現の幅を身に付け、自分の専門性に応用する。
- 全コースに共通する描写、メディア技術については、全員が履修する(演習)。
- イラストレーションの歴史、文化、実務についての知識を学ぶ「イラストレーション論」は、全員が履修する。

●専門研究課程 (4年生)

専門研究課程では、それまでの授業とは異なり、自らがテーマを設定し、計画～制作～発表までをコントロールすることが要求されます。

そのため、それぞれのコースゼミでは、さまざまな発表機会が設定され、それに沿って各自が研究制作を行います。

芸術学科 イラストレーション領域 平成29(2017)年度以降入学生

カリキュラム	単位数				授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	受講方法
	必修	指定	受講	選択		1年	2年	3年	4年			
専門導入科目	基礎造形実習1A		2		実習	○				*学科共通科目 イラスト領域開講科目		基礎造形実習1~4 計8単位を修得すること
	基礎造形実習2A		2		実習	○						
	基礎造形実習3A		2		実習	○				*学科共通科目 イラスト領域開講科目		
	基礎造形実習4A		2		実習	○						
	基礎造形実習2B		2		実習	○				*学科共通科目 イラスト領域開講科目		
	基礎造形実習4B		2		実習	○				*学科共通科目 イラスト領域開講科目		
	基礎造形実習3C		2		実習	○						
	基礎造形実習4C		2		実習	○						
	基礎造形実習2D		2		実習	○						
	基礎造形実習4D		2		実習	○						
基礎造形実習1E		2		実習	○							
イラストレーション基礎演習1		2		演習	○				領域共通科目		領域の基礎演習を 4単位修得すること	
イラストレーション基礎演習2		2		演習	○				領域共通科目			
専門基盤科目	イラストレーション演習1		2		演習		○			領域共通科目		領域共通専門基盤科目を 16単位修得すること
	イラストレーション演習2		2		演習		○			領域共通科目		
	イラストレーション演習3		2		演習		○			領域共通科目		
	イラストレーション演習4		2		演習		○			領域共通科目		
	イラストレーション演習5		2		演習			○		領域共通科目		
	イラストレーション演習6		2		演習			○		領域共通科目		
	イラストレーション演習7		2		演習			○		領域共通科目		
	イラストレーション演習8		2		演習			○		領域共通科目		
	イラストレーション実習1-a		2		実習		○			メディアイラストコース科目		
	イラストレーション実習2-a		2		実習		○			メディアイラストコース科目		
イラストレーション実習3-a		2		実習			○		メディアイラストコース科目			
イラストレーション実習4-a		2		実習			○		メディアイラストコース科目			
イラストレーション実習1-b		2		実習		○			アートイラストコース科目			
イラストレーション実習2-b		2		実習		○			アートイラストコース科目			
イラストレーション実習3-b		2		実習			○		アートイラストコース科目			
イラストレーション実習4-b		2		実習			○		アートイラストコース科目			
イラストレーション実習1-c		2		実習		○			デジタルイラストコース科目			
イラストレーション実習2-c		2		実習		○			デジタルイラストコース科目			
イラストレーション実習3-c		2		実習			○		デジタルイラストコース科目			
イラストレーション実習4-c		2		実習			○		デジタルイラストコース科目			
イラストレーション実習1-d		2		実習		○			マンガ・絵本コース科目			
イラストレーション実習2-d		2		実習		○			マンガ・絵本コース科目			
イラストレーション実習3-d		2		実習			○		マンガ・絵本コース科目			
イラストレーション実習4-d		2		実習			○		マンガ・絵本コース科目			
イラストレーション実習1-e		2		実習		○			アニメーションコース科目	ブロードキャスティングスタジオ(イラスト)		
イラストレーション実習2-e		2		実習		○			アニメーションコース科目			
イラストレーション実習3-e		2		実習			○		アニメーションコース科目			
イラストレーション実習4-e		2		実習			○		アニメーションコース科目			
イラストレーション実習1-f		2		実習		○			3DCGコース科目	ブロードキャスティングスタジオ(イラスト)		
イラストレーション実習2-f		2		実習		○			3DCGコース科目			
イラストレーション実習3-f		2		実習			○		3DCGコース科目			
イラストレーション実習4-f		2		実習			○		3DCGコース科目			
イラストレーション実習1-g		2		実習		○			フィギュア・トイコース科目			
イラストレーション実習2-g		2		実習		○			フィギュア・トイコース科目			
イラストレーション実習3-g		2		実習			○		フィギュア・トイコース科目			
イラストレーション実習4-g		2		実習			○		フィギュア・トイコース科目			
イラストレーション実習1-h		2		実習		○			風景イラストコース科目			
イラストレーション実習2-h		2		実習		○			風景イラストコース科目			
イラストレーション実習3-h		2		実習			○		風景イラストコース科目			
イラストレーション実習4-h		2		実習			○		風景イラストコース科目			
イラストレーション実習1-i		2		実習		○			ネイチャーイラストコース科目			
イラストレーション実習2-i		2		実習		○			ネイチャーイラストコース科目			
イラストレーション実習3-i		2		実習			○		ネイチャーイラストコース科目			
イラストレーション実習4-i		2		実習			○		ネイチャーイラストコース科目			
イラストレーション実習5		2		実習		○	○		領域共通選択科目			
イラストレーション実習6		2		実習		○	○		領域共通選択科目			
イラストレーション実習7		2		実習		○	○		領域共通選択科目			
イラストレーション実習8		2		実習		○	○		領域共通選択科目			
イラストレーション実習9		2		実習		○	○		領域共通選択科目			
イラストレーション実習10		2		実習		○	○		領域共通選択科目			
科専目究門	卒業研究1	4			演習				○			領域の専門研究科目を 10単位修得すること
	卒業研究2	6			演習				○			
領域	イラストレーション概論		2		講義	○						領域の芸術応用科目を 10単位修得すること
	イラストレーション論1		2		講義		○					
	イラストレーション論2		2		講義		○					
	イラストレーション論3		2		講義			○				
イラストレーション論4		2		講義				○				

■ 芸術学科 イラストレーション領域 メディアイラストコース
平成29(2017)年度以降入学生 スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期または後期		前期または後期		前期または後期		前期	後期
専攻科目 / 54単位	/ 必修科目 / 10単位							卒業研究1 卒業研究2	
		基礎造形実習1A 基礎描写 基礎造形実習2B イラストレーション 画材研究 基礎造形実習3A 立体基礎・CG基礎 シンボライズ 前期 イラスト基礎演習2 クロッキー1 基礎造形実習4B 絵コンテ デジタル 作画・動画 後期 イラスト基礎演習1 遠近法・色彩	イラスト実習1-a 挿絵基礎 イラスト実習2-a イメージの咀嚼と 表現・デザイン 選択実習 領域共通のイラスト実習 5~10もしくはイラスト 実習1-a以外の1-b~1-i から1科目を選択 イラスト演習4 演出(映像鑑賞) イラスト演習1 クロッキー2 前期または後期 イラスト演習2 DTP イラスト演習3 写真	イラスト実習3-a ブックデザインと 印刷・表現 イラスト実習4-a コンテンツと デザイン 選択実習 領域共通のイラスト実習 5~10もしくはイラスト 実習3-a以外の3-b~3-i から1科目を選択 イラスト演習5 DTP・ページ編集 イラスト演習7 クロッキー4 イラスト演習6 クロッキー3 イラスト演習8 プレゼンテーション					
芸術 / 10単位 応用科目		イラスト概論 イラストレーション とは何か 概論	イラスト論1 イラストレーション とは何か 1	イラスト論2 イラストレーション とは何か 2	イラスト論3 イラストレーション とは何か 3	イラスト論4 イラストレーション とは何か 4			
共通教育センター(学部共通)科目	学部受講指定科目	大学入門1	大学入門2	コミュニティデザイン概論					
		スタディスキル実習1	スタディスキル実習3						
選択受講指定科目	学部受講指定科目	スタディスキル実習2	スタディスキル実習4						
		ファウンデーション実習A1	ファウンデーション実習A3						
		ファウンデーション実習A2	ファウンデーション実習A4						
		ファウンデーション実習B1	ファウンデーション実習B2						
		キャリアデザイン概論1	キャリアデザイン概論2						
		東洋・日本美術史概説A	東洋・日本美術史概説B	← 芸術基礎科目 4科目8単位以上					
		西洋美術史概説A	西洋美術史概説B						
		デザイン史概説A	デザイン史概説B						
				芸術応用科目 2科目4単位以上					
				地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上					
				キャリアデザイン科目 1科目2単位以上					

学修システム・カリキュラム

平成29(2017)年度以降入学生
イラストレーション領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

就職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

芸術学科 イラストレーション領域 アートイラストコース
平成29(2017)年度以降入学生 スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期または後期		前期または後期		前期または後期		前期	後期
専攻領域 イラストレーション領域	/ 必修科目 10単位							卒業研究1 卒業研究2	
		基礎造形実習1A 基礎描写 基礎造形実習2B イラストレーション画材研究 基礎造形実習3A 立体基礎・CG基礎シンボライズ 基礎造形実習4B 絵コンテデジタル作画・動画 前期 イラスト基礎演習2 クロッキー1 後期 イラスト基礎演習1 遠近法・色彩		イラスト実習1-b 水性技法 / 乾式技法 イラスト実習2-b 色彩描画 選択実習 <small>領域共通のイラスト実習5~10もしくはイラスト実習1-b以外の1-aおよび1-c~1-iから1科目を選択</small> イラスト演習4 演出(映像鑑賞) イラスト演習1 クロッキー2 前期または後期 イラスト演習2 DTP イラスト演習3 写真		イラスト実習3-b テクスチャー研究 イラスト実習4-b 飾る事を目的とした絵画制作 選択実習 <small>領域共通のイラスト実習5~10もしくはイラスト実習3-b以外の3-aおよび3-c~3-iから1科目を選択</small> イラスト演習5 DTP・ページ編集 イラスト演習7 クロッキー4 イラスト演習6 クロッキー3 イラスト演習8 プレゼンテーション			
専攻領域 イラストレーション領域	/ 10単位	イラスト概論 イラストレーションとは何か 概論		イラスト論1 イラストレーションとは何か 1 イラスト論2 イラストレーションとは何か 2		イラスト論3 イラストレーションとは何か 3 イラスト論4 イラストレーションとは何か 4			
		大学入門1 大学入門2 スタディスキル実習1 スタディスキル実習3 スタディスキル実習2 スタディスキル実習4 ファウンデーション実習A1 ファウンデーション実習A3 ファウンデーション実習A2 ファウンデーション実習A4 ファウンデーション実習B1 ファウンデーション実習B2 キャリアデザイン概論1 キャリアデザイン概論2		コミュニティデザイン概論					
専攻領域 イラストレーション領域	/ 10単位	東洋・日本美術史概説A 東洋・日本美術史概説B 西洋美術史概説A 西洋美術史概説B デザイン史概説A デザイン史概説B		芸術基礎科目 4科目8単位以上					
		芸術応用科目 2科目4単位以上 地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上 キャリアデザイン科目 1科目2単位以上							

学修システム・カリキュラム

平成29(2017)年度以降入学生
イラストレーション領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

■ 芸術学科 イラストレーション領域 デジタルイラストコース
平成29(2017)年度以降入学生 スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期または後期		前期または後期		前期または後期		前期	後期
専攻科目 /54単位	/必修科目 10単位							卒業研究1 卒業研究2	
		基礎造形実習1A 基礎描写 基礎造形実習3A 立体基礎・CG基礎 シンボライズ 前期 イラスト基礎演習2 クロッキー1	基礎造形実習2B イラストレーション 画材研究 基礎造形実習4B 絵コンテ デジタル作画・動画 後期 イラスト基礎演習1 遠近法・色彩	イラスト実習1-c ペイント系ソフトを学ぶ 選択実習 領域共通のイラスト実習5~10もしくはイラスト実習1-c以外の1-a~1-bおよび1-d~1-iから1科目を選択 イラスト演習4 演出(映像鑑賞)	イラスト実習2-c デジタルペイントにおける配置・配色 選択実習 領域共通のイラスト実習5~10もしくはイラスト実習2-c以外の2-a~2-bおよび2-d~2-iから1科目を選択 イラスト演習1 クロッキー2	イラスト実習3-c 広告原画制作 選択実習 領域共通のイラスト実習5~10もしくはイラスト実習3-c以外の3-a~3-bおよび3-d~3-iから1科目を選択 イラスト演習5 DTP・ページ編集 イラスト演習6 クロッキー3	イラスト実習4-c シリーズイラストレーション制作 選択実習 領域共通のイラスト実習5~10もしくはイラスト実習4-c以外の4-a~4-bおよび4-d~4-iから1科目を選択 イラスト演習7 クロッキー4 イラスト演習8 プレゼンテーション		
芸術 /10単位 応用科目		イラスト概論 イラストレーションとは何か 概論		イラスト論1 イラストレーションとは何か 1	イラスト論2 イラストレーションとは何か 2	イラスト論3 イラストレーションとは何か 3	イラスト論4 イラストレーションとは何か 4		
共通教育センター(学部共通)科目	学部受講指定科目	大学入門1	大学入門2	コミュニティデザイン概論					
		スタディスキル実習1	スタディスキル実習3						
選択受講指定科目	学部受講指定科目	スタディスキル実習2	スタディスキル実習4						
		ファウンデーション実習A1	ファウンデーション実習A3						
		ファウンデーション実習A2	ファウンデーション実習A4						
		ファウンデーション実習B1	ファウンデーション実習B2						
		キャリアデザイン概論1	キャリアデザイン概論2						
		東洋・日本美術史概説A	東洋・日本美術史概説B	← 芸術基礎科目 4科目8単位以上					
		西洋美術史概説A	西洋美術史概説B						
		デザイン史概説A	デザイン史概説B						
				芸術応用科目 2科目4単位以上					
				地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上					
				キャリアデザイン科目 1科目2単位以上					

■ 芸術学科 イラストレーション領域 アニメーションコース
平成29(2017)年度以降入学生 スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期または後期		前期または後期		前期または後期		前期	後期
専攻科目 /54単位	／必 修 科 目 /10 単 位							卒業研究1 卒業研究2	
	領域指定科目 / 54単位	基礎造形実習1A 基礎描写	基礎造形実習2B イラストレーション 画材研究	イラスト実習1-e アニメーション 作画・原理	イラスト実習2-e アニメーション 素材の仕上げと 撮影・編集	イラスト実習3-e アニメーション制作 (グループ作品)	イラスト実習4-e アニメーション制作 (個人作品)		
芸術 /10 単 位 応 用 科 目		基礎造形実習3A 立体基礎・ CG基礎 シンボライズ	基礎造形実習4B 絵コンテ デジタル 作画・動画	選択実習 領域共通のイラスト実習 5~10もしくはイラスト実習 1-e以外の1-a~1-dおよび 1-f~1-iから1科目を選択	選択実習 領域共通のイラスト実習 5~10もしくはイラスト実習 2-e以外の2-a~2-dおよび 2-f~2-iから1科目を選択	選択実習 領域共通のイラスト実習 5~10もしくはイラスト実習 3-e以外の3-a~3-dおよび 3-f~3-iから1科目を選択	選択実習 領域共通のイラスト実習 5~10もしくはイラスト実習 4-e以外の4-a~4-dおよび 4-f~4-iから1科目を選択		
		前期 イラスト 基礎演習2 クロッキー1	後期 イラスト 基礎演習1 遠近法・色彩	イラスト演習4 演出(映像鑑賞)	イラスト演習1 クロッキー2	イラスト演習5 DTP・ページ編集	イラスト演習7 クロッキー4		
		前期または後期 イラスト演習2 DTP		イラスト演習3 写真		イラスト演習6 クロッキー3		イラスト演習8 プレゼンテーション	
		イラスト概論 イラストレーション とは何か 概論		イラスト論1 イラストレーション とは何か 1		イラスト論2 イラストレーション とは何か 2		イラスト論3 イラストレーション とは何か 3	
				イラスト論4 イラストレーション とは何か 4					
共通教育センター (学部共通) 科目	学部受講指定科目	大学入門1	大学入門2	コミュニティ デザイン概論					
	選択受講指定科目	スタディ スキル実習1	スタディ スキル実習3						
		スタディ スキル実習2	スタディ スキル実習4						
		ファウンデ ーション実習A1	ファウンデ ーション実習A3						
		ファウンデ ーション実習A2	ファウンデ ーション実習A4						
		ファウンデ ーション実習B1	ファウンデ ーション実習B2						
		キャリア デザイン概論1	キャリア デザイン概論2						
		東洋・日本 美術史概説A	東洋・日本 美術史概説B	← 芸術基礎科目 4科目8単位以上					
		西洋 美術史概説A	西洋 美術史概説B						
		デザイン史 概説A	デザイン史 概説B						
				芸術応用科目 2科目4単位以上					
				地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上					
				キャリアデザイン科目 1科目2単位以上					

学修システム・カリキュラム

平成29(2017)年度以降入学生
イラストレーション領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

就職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

芸術学科 イラストレーション領域 3DCGコース
平成29(2017)年度以降入学生 スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期または後期		前期または後期		前期または後期		前期	後期
専修システム・カリキュラム	/ 必修科目 10単位							卒業研究1 卒業研究2	
		基礎造形実習1A 基礎描写 基礎造形実習2B イラストレーション画材研究 基礎造形実習3A 立体基礎・CG基礎 シンボライズ 基礎造形実習4B 絵コンテ デジタル作画・動画 イラスト基礎演習2 クロッキー1 イラスト基礎演習1 遠近法・色彩		イラスト実習1-f 3DCGモデリング イラスト実習2-f 3DCGアニメーション、映像合成 イラスト実習3-f ゲーム開発環境の習得 イラスト実習4-f 作品制作(アニメーション、ゲーム) イラスト実習5-f 領域共通のイラスト実習5~10もしくはイラスト実習2-f以外の2-a~2-eおよび3-g~3-iから1科目を選択 イラスト実習6-f 領域共通のイラスト実習5~10もしくはイラスト実習2-f以外の3-a~3-eおよび4-f以外の4-a~4-eおよび4-g~4-iから1科目を選択 イラスト実習7-f 領域共通のイラスト実習5~10もしくはイラスト実習2-f以外の3-a~3-eおよび4-f以外の4-a~4-eおよび4-g~4-iから1科目を選択 イラスト実習8-f 領域共通のイラスト実習5~10もしくはイラスト実習2-f以外の3-a~3-eおよび4-f以外の4-a~4-eおよび4-g~4-iから1科目を選択					
専修システム・カリキュラム	/ 10単位	イラスト概論 イラストレーションとは何か 概論		イラスト論1 イラストレーションとは何か1 イラスト論2 イラストレーションとは何か2		イラスト論3 イラストレーションとは何か3 イラスト論4 イラストレーションとは何か4			
		大学入門1 大学入門2 スタディスキル実習1 スタディスキル実習3 スタディスキル実習2 スタディスキル実習4 ファウンデーション実習A1 ファウンデーション実習A3 ファウンデーション実習A2 ファウンデーション実習A4 ファウンデーション実習B1 ファウンデーション実習B2 キャリアデザイン概論1 キャリアデザイン概論2		コミュニティデザイン概論					
専修システム・カリキュラム	/ 10単位	東洋・日本美術史概説A 東洋・日本美術史概説B 西洋美術史概説A 西洋美術史概説B デザイン史概説A デザイン史概説B		芸術基礎科目 4科目8単位以上					
		芸術応用科目 2科目4単位以上 地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上 キャリアデザイン科目 1科目2単位以上							

専修システム・カリキュラム

平成29(2017)年度以降入学生
イラストレーション領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

■ 芸術学科 イラストレーション領域 フィギュア・トイコース
平成29(2017)年度以降入学生 スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期または後期		前期または後期		前期または後期		前期	後期
専攻科目 / 10単位	/ 必修科目 ↑							卒業研究1 卒業研究2	
		基礎造形実習1A 基礎描写	基礎造形実習2B イラストレーション 画材研究	イラスト実習1-g ハンドモデリング	イラスト実習2-g オリジナル モデリング	イラスト実習3-g 3DCGモデリング	イラスト実習4-g シリーズ モデリング		
専攻科目 / 54単位	領域指定科目 / 54単位	基礎造形実習3A 立体基礎・ CG基礎 シンボライズ	基礎造形実習4B 絵コンテ デジタル 作画・動画	選択実習 領域共通のイラスト実習 5~10もしくはイラスト実習 1-g以外の1-a~1-fおよび 1-h~1-iから1科目を選択	選択実習 領域共通のイラスト実習 5~10もしくはイラスト実習 2-g以外の2-a~2-fおよび 2-h~2-iから1科目を選択	選択実習 領域共通のイラスト実習 5~10もしくはイラスト実習 3-g以外の3-a~3-fおよび 3-h~3-iから1科目を選択	選択実習 領域共通のイラスト実習 5~10もしくはイラスト実習 4-g以外の4-a~4-fおよび 4-h~4-iから1科目を選択		
		前期 イラスト 基礎演習2 クロッキー1	後期 イラスト 基礎演習1 遠近法・色彩	イラスト演習4 演出(映像鑑賞)	イラスト演習1 クロッキー2	イラスト演習5 DTP・ページ編集	イラスト演習7 クロッキー4	イラスト演習6 クロッキー3	イラスト演習8 プレゼンテーション
芸術 / 10単位 応用科目	↓	イラスト概論 イラストレーション とは何か 概論		イラスト論1 イラストレーション とは何か 1	イラスト論2 イラストレーション とは何か 2	イラスト論3 イラストレーション とは何か 3	イラスト論4 イラストレーション とは何か 4		
		学部受講指定科目		コミュニティ デザイン概論					
共通教育センター (学部共通) 科目	選択受講指定科目	大学入門1	大学入門2						
		スタディ スキル実習1	スタディ スキル実習3						
		スタディ スキル実習2	スタディ スキル実習4						
		ファウンダー ション実習A1	ファウンダー ション実習A3						
		ファウンダー ション実習A2	ファウンダー ション実習A4						
		ファウンダー ション実習B1	ファウンダー ション実習B2						
		キャリア デザイン概論1	キャリア デザイン概論2						
		東洋・日本 美術史概説A	東洋・日本 美術史概説B	← 芸術基礎科目 4科目8単位以上					
		西洋 美術史概説A	西洋 美術史概説B						
		デザイン史 概説A	デザイン史 概説B						
				芸術応用科目 2科目4単位以上					
				地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上					
				キャリアデザイン科目 1科目2単位以上					

芸術学科 イラストレーション領域 風景イラストコース
平成29(2017)年度以降入学生 スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程			
		1年		2年		3年		4年			
		前期または後期		前期または後期		前期または後期		前期	後期		
専修システム・カリキュラム	/ 10単位 必修科目							卒業研究1 卒業研究2			
		基礎造形実習1A 基礎描写 基礎造形実習2B イラストレーション画材研究		イラスト実習1-h 風景写生	イラスト実習2-h 水性技法 / 乾式技法	イラスト実習3-h 空間描写	イラスト実習4-h 風景・空間表現をテーマとした制作				
専修システム・カリキュラム	領域指定科目 / 54単位	基礎造形実習3A 立体基礎・CG基礎 シンボライズ		選択実習 領域共通のイラスト実習 5~10もしくはイラスト実習 1-h以外の1-a~1-gおよび1-iから1科目を選択	選択実習 領域共通のイラスト実習 5~10もしくはイラスト実習 2-h以外の2-a~2-gおよび2-iから1科目を選択	選択実習 領域共通のイラスト実習 5~10もしくはイラスト実習 3-h以外の3-a~3-gおよび3-iから1科目を選択	選択実習 領域共通のイラスト実習 5~10もしくはイラスト実習 4-h以外の4-a~4-gおよび4-iから1科目を選択				
		前期 イラスト基礎演習2 クロッキー1	後期 イラスト基礎演習1 遠近法・色彩	イラスト演習4 演出(映像鑑賞)	イラスト演習1 クロッキー2	イラスト演習5 DTP・ページ編集	イラスト演習7 クロッキー4	イラスト演習6 クロッキー3	イラスト演習8 プレゼンテーション		
専修システム・カリキュラム	/ 10単位 芸術応用科目	イラスト概論 イラストレーションとは何か 概論		イラスト論1 イラストレーションとは何か 1	イラスト論2 イラストレーションとは何か 2	イラスト論3 イラストレーションとは何か 3	イラスト論4 イラストレーションとは何か 4				
		大学入門1 大学入門2		コミュニティデザイン概論							
専修システム・カリキュラム	学部受講指定科目	スタディスキル実習1	スタディスキル実習3								
		スタディスキル実習2	スタディスキル実習4								
専修システム・カリキュラム	共通教育センター(学部共通)科目	ファウンデーション実習A1	ファウンデーション実習A3								
		ファウンデーション実習A2	ファウンデーション実習A4								
専修システム・カリキュラム	選択受講指定科目	ファウンデーション実習B1	ファウンデーション実習B2								
		キャリアデザイン概論1	キャリアデザイン概論2								
専修システム・カリキュラム	専修システム・カリキュラム	東洋・日本美術史概説A	東洋・日本美術史概説B	← 芸術基礎科目 4科目8単位以上							
		西洋美術史概説A	西洋美術史概説B								
専修システム・カリキュラム	専修システム・カリキュラム	デザイン史概説A	デザイン史概説B								
				芸術応用科目 2科目4単位以上							
				地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上							
						キャリアデザイン科目 1科目2単位以上					

専修システム・カリキュラム

平成29(2017)年度以降入学生
イラストレーション領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

■ 芸術学科 イラストレーション領域 ネイチャーイラストコース
平成29(2017)年度以降入学生 スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期または後期		前期または後期		前期または後期		前期	後期
専攻科 /10単位	/必 修科目							卒業研究1 卒業研究2	
		基礎造形実習1A 基礎描写	基礎造形実習2B イラストレーション 画材研究	イラスト実習1-i 人体描写1	イラスト実習2-i 人体描写2	イラスト実習3-i 美術解剖学応用1	イラスト実習4-i 美術解剖学応用2		
専攻科 /54単位	領域 指定科目 /54単位	基礎造形実習3A 立体基礎・ CG基礎 シンボライズ	基礎造形実習4B 絵コンテ デジタル 作画・動画	選択実習 領域共通のイラスト実習 5~10もしくはイラスト実習 1-i以外の1-a~1-hから 1科目を選択	選択実習 領域共通のイラスト実習 5~10もしくはイラスト実習 2-i以外の2-a~2-hから 1科目を選択	選択実習 領域共通のイラスト実習 5~10もしくはイラスト実習 3-i以外の3-a~3-hから 1科目を選択	選択実習 領域共通のイラスト実習 5~10もしくはイラスト実習 4-i以外の4-a~4-hから 1科目を選択		
		前期 イラスト 基礎演習2 クロッキー1	後期 イラスト 基礎演習1 遠近法・色彩	イラスト演習4 演出(映像鑑賞)	イラスト演習1 クロッキー2	イラスト演習5 DTP・ページ編集	イラスト演習7 クロッキー4	イラスト演習6 クロッキー3	イラスト演習8 プレゼンテーション
専攻科 /10単位	芸術 応用科目	イラスト概論 イラストレーション とは何か 概論		イラスト論1 イラストレーション とは何か 1	イラスト論2 イラストレーション とは何か 2	イラスト論3 イラストレーション とは何か 3	イラスト論4 イラストレーション とは何か 4		
		学部受講指定科目		コミュニティ デザイン概論					
専攻科 /10単位	共通教育センター (学部共通) 科目	大学入門1	大学入門2						
		スタディ スキル実習1	スタディ スキル実習3						
		スタディ スキル実習2	スタディ スキル実習4						
		ファウンダー ション実習A1	ファウンダー ション実習A3						
		ファウンダー ション実習A2	ファウンダー ション実習A4						
		ファウンダー ション実習B1	ファウンダー ション実習B2						
		キャリア デザイン概論1	キャリア デザイン概論2						
		東洋・日本 美術史概説A	東洋・日本 美術史概説B						
		西洋 美術史概説A	西洋 美術史概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上					
		デザイン史 概説A	デザイン史 概説B						
				芸術応用科目 2科目4単位以上					
				地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上					
				キャリアデザイン科目 1科目2単位以上					

■イラストレーション領域人材育成目標について

イラストレーション表現の基礎となる「描写」「技法」と、その展開である「コンテンツ」「デザイン」の4つの系統の学びにより、情報伝達、エンターテインメント、文化活動など「幅広く社会に必要とされる美術表現」＝イラストレーション表現能力を持つ人材を育成する。

■イラストレーション領域の特色・各課程での学びについて

現代的な絵画表現であるイラストレーションは、印刷技術などのメディアの発達とともに、独自の進化を遂げてきました。今日ではイラストレーションを

「情報を伝達すること、具体的な意味を説明することを目的とする絵」 (挿絵や図解、広告ポスターなど)
 「複製され伝搬されることを目的とし、メディアのために描かれる絵」 (印刷物やWEBなど)
 「装飾や娯楽性を目的とする絵」 (装飾絵画や壁画、宣伝キャラクターなど)

と定義できます。

また、現代ではこれらの機能の複合的な応用として、マンガやアニメーション、ゲームといったコンテンツの表現、キャラクターグッズなどの商品としても欠かせないものとなっています。こういった多様性、変化し続ける柔軟性こそ、イラストレーションの魅力といえるでしょう。

イラストレーション領域では、イラストレーションの可能性を探求し、実現する人材を育成するために、以下の4つの学びの系統に分けています。

「**描写系の学び**」では、対象の特徴や本質を捉え、絵として表現できる技術を学びます。主にデッサンなど写実描写により、観察力と描写力を養いますが、デフォルメなどの誇張表現も含まれます。

「**技法系の学び**」では、画材の特性を活かした表現技術を学びます。今日のイラストレーションは技法を選ばない表現であり、さまざまな技法に精通することで表現力が高まります。

「**コンテンツ系の学び**」では、複数の図像やイラストレーションを組み合わせることで、意味を表現することを学びます。対比効果や構図構成にはじまり、絵本やマンガといったコンテンツまで含まれます。

「**デザイン系の学び**」では、印刷など様々なメディアを使いこなすことを学びます。イラストレーションは、単独ではなくさまざまな要素と共に成立します。メディアの中で絵を活かしていく方法から、商品展開までを含みます。

この4つの学びの系統すべてを基盤として習得しつつ、徐々にそれぞれの専門性を見出していくカリキュラム構成となっています。

●専門導入課程（1年生）

描写と技法の基本を学び、観察力や描写力の基礎を身に付ける。
 構図と構成を学び、絵で意味を伝えることを身につける。
 グラフィックデザインの考え方と基礎技術を学ぶ。

●専門基盤課程（2～3年生）

「描写」「技法」「コンテンツ」「デザイン」の学びの各系統に対する、知識と経験を深め、目的にあわせて構成や応用ができるようになる。またこれらの系統の中から、自分の専門性を模索する。

●専門研究課程（4年生）

「描写」「技法」「コンテンツ」「デザイン」いずれかのゼミに1年間所属し、他の系統で学んだことも活かしつつ、より専門性を高めた表現を探求する。卒業研究（制作）としてその成果発表を行う。

芸術学科 イラストレーション領域 平成29(2017)年度以前入学生

カリキュラム	単位数		授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	受講方法
	必修	指定受講		選択	1年	2年	3年			
専門導入科目	基礎造形実習1A	2	実習	○						基礎造形実習1~4 計8単位を修得すること
	基礎造形実習2A	2	実習	○						
	基礎造形実習3A	2	実習	○				*学科共通科目 イラスト領域開講科目		
	基礎造形実習4A	2	実習	○						
	基礎造形実習2B	2	実習	○				*学科共通科目 イラスト領域開講科目		
	基礎造形実習4B	2	実習	○				*学科共通科目 イラスト領域開講科目		
	基礎造形実習3C	2	実習	○						
	基礎造形実習4C	2	実習	○						
	基礎造形実習2D	2	実習	○						
	基礎造形実習4D	2	実習	○						
	基礎造形実習1E	2	実習	○						
イラストレーション基礎演習1	2	演習	○						領域の基礎演習を 4単位修得すること	
イラストレーション基礎演習2	2	演習	○							
専門基盤科目	イラストレーション演習1	2	演習	○						領域の専門基盤科目を 32単位修得すること
	イラストレーション演習2	2	演習	○						
	イラストレーション演習3	2	演習	○						
	イラストレーション演習4	2	演習	○						
	イラストレーション演習5	2	演習			○				
	イラストレーション演習6	2	演習			○				
	イラストレーション演習7	2	演習			○				
	イラストレーション演習8	2	演習			○				
	イラストレーション実習1	2	実習		○					
	イラストレーション実習2	2	実習		○					
	イラストレーション実習3	2	実習		○					
	イラストレーション実習4	2	実習		○					
	イラストレーション実習5	2	実習			○				
	イラストレーション実習6	2	実習			○				
イラストレーション実習7	2	実習			○					
イラストレーション実習8	2	実習			○					
専門研究科目	卒業研究1	4	演習				○			領域の専門研究科目を 10単位修得すること
	卒業研究2	6	演習				○			
芸術応用科目	イラストレーション概論	2	講義	○						領域の芸術応用科目を 10単位修得すること
	イラストレーション論1	2	講義		○					
	イラストレーション論2	2	講義		○					
	イラストレーション論3	2	講義			○				
	イラストレーション論4	2	講義			○				

■ 芸術学科 イラストレーション領域 イラストレーションコース
平成28(2016)年度以前入学生 スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期または後期		前期または後期		前期または後期		前期	後期
専攻科目 / 54単位	／必修科目 10単位							卒業研究1 卒業研究2	
	領域指定科目 / 54単位	基礎造形実習1A 基礎描写1 (明暗表現)	基礎造形実習2B 基礎描写2 (色彩表現)	イラスト実習1 空間描写 (教職/絵画)	イラスト実習2 人体描写応用 (教職/絵画)	イラスト実習5 コンテンツ・演出構成	イラスト実習7 描写 空間描写 人体・動物描写		
芸術 ／10単位 応用科目		基礎造形実習3A シンボライズ& デザイン	基礎造形実習4B 色彩	イラスト実習3 技法1 デジタルペイント マチュール	イラスト実習4 技法2 水性技法 乾式技法	イラスト演習5 コンテンツ・演出構成 DTP	イラスト演習7 描写 人体		
		イラスト 基礎演習1 構図&挿絵	イラスト 基礎演習2 人体描写基礎 (クロッキー)	イラスト演習1 コンテンツ入門	イラスト演習2 グラフィック デザイン基礎	イラスト実習6 技法 デジタルイメージング タブロー制作	イラスト実習8 デザイン 商品イラストレーション		
				イラスト演習3 情報伝達技術 WEB+発信	イラスト演習4 情報伝達表現 (実用イラストレーション)	イラスト演習6 描写 人体	イラスト演習8 デザイン ポートフォリオ		
		イラスト概論 歴史と現状		イラスト論1 視覚認知論 美術解剖学	イラスト論2 メディアイラスト論	イラスト論3 形態論 視覚論	イラスト論4 自己プロデュース		
共通教育センター (学部共通) 科目	学部受講指定科目	大学入門1	大学入門2	コミュニティ デザイン概論					
	選択受講指定科目	スタディ スキル実習1	スタディ スキル実習3						
		スタディ スキル実習2	スタディ スキル実習4						
		ファウンダー ション実習A1	ファウンダー ション実習A3						
		ファウンダー ション実習A2	ファウンダー ション実習A4						
		ファウンダー ション実習B1	ファウンダー ション実習B2						
		キャリア デザイン概論1	キャリア デザイン概論2						
		東洋・日本 美術史概説A	東洋・日本 美術史概説B	← 芸術基礎科目 4科目8単位以上					
		西洋 美術史概説A	西洋 美術史概説B						
		デザイン史 概説A	デザイン史 概説B						
				芸術応用科目 2科目4単位以上					
				地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上					
				キャリアデザイン科目 1科目2単位以上					

学修システム・カリキュラム

平成28(2016)年度以前入学生
イラストレーション領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

美術領域

■美術領域人材育成目標について

「描くこと」「つくること」「表現すること」を基本に、感性を通して自然の世界や日常生活の環境を見つめ、その中で豊かな想像力を育み、自らのテーマ(目標)を設定し制作した作品を社会に向けて発信できる表現力を持つ人材を育成する。

■美術領域の特色・各課程での学びについて

実習や演習を通して様々な「技法」「知識」「表現力」を高め、美術に必要な基礎技術を養い、美術概論や美術論では「なぜ作品を制作するのか」「何を社会に伝えたいのか」など、美術とは何かを修得しながら考える力を培います。このような積み重ねが、卒業後のそれぞれの就職先で幅広く生かされ多くの人材が活躍しています。

●専門導入課程(1年生)

基礎造形実習科目の学修目標は、一つには平面・立体表現の基礎を学び、そして日本画・洋画・現代アートのそれぞれの専門教育の導入として専門分野の基礎を修得します。また、演習では現代の若手芸術家の活動や作品を通じて紹介しながら「描く」「つくる」「表現する」行為について考察します。

●専門基盤課程(2～3年生)

演習科目において、様々な「技法」「素材」「表現方法」について知的に学び、さらに専門分野の表現の根幹となる「技術力」「造形力」そして「感性」を磨きます。実習課題は思考しながら自らの作品のテーマを定め、独創性ある表現方法を実践していきます。

●専門研究課程(4年生)

美術の表現者としての自覚と、人としての生き方を考え、専門分野の研究を更に広げ深めることを目標に、自らの研究試行の段階で指導と助言を受けながら確固たるものにしていく手法を学びます。

芸術学科 美術領域

カリキュラム	単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	受講方法	
	必修	指定	選択		1年	2年	3年	4年				
専門導入科目	基礎造形実習1A		2	実習	○				*学科共通科目 美術領域開講科目		基礎造形実習1~4 計8単位を修得すること	
	基礎造形実習2A		2	実習	○				*学科共通科目 美術領域開講科目			
	基礎造形実習3A		2	実習	○							
	基礎造形実習4A		2	実習	○							
	基礎造形実習2B		2	実習	○							
	基礎造形実習4B		2	実習	○							
	基礎造形実習3C		2	実習	○				*学科共通科目 美術領域開講科目			
	基礎造形実習4C		2	実習	○				*学科共通科目 美術領域開講科目			
	基礎造形実習2D		2	実習	○							
	基礎造形実習4D		2	実習	○							
	基礎造形実習1E		2	実習	○							
	美術基礎演習1		2	演習	○				領域共通科目			領域の基礎演習を 4単位修得すること
	美術基礎演習2		2	演習	○				領域共通科目			
専門基盤科目	美術演習1		2	演習	○				領域共通科目		領域共通および 各コースの専門基盤 科目32単位を修得す ること	
	美術演習3		2	演習	○				領域共通科目			
	美術演習2-a		2	演習	○				日本画コース科目			
	美術演習4-a		2	演習	○				日本画コース科目			
	美術演習5-a		2	演習	○				日本画コース科目			
	美術演習6-a		2	演習	○				日本画コース科目			
	美術演習7-a		2	演習		○			日本画コース科目			
	美術演習8-a		2	演習		○			日本画コース科目			
	美術実習1-a		2	実習	○				日本画コース科目			
	美術実習2-a		2	実習	○				日本画コース科目			
	美術実習3-a		2	実習	○				日本画コース科目			
	美術実習4-a		2	実習	○				日本画コース科目			
	美術実習5-a		2	実習		○			日本画コース科目			
	美術実習6-a		2	実習		○			日本画コース科目			
	美術実習7-a		2	実習		○			日本画コース科目			
	美術実習8-a		2	実習		○			日本画コース科目			
	美術演習2-b		2	演習	○				洋画コース科目			
	美術演習4-b		2	演習	○				洋画コース科目			
	美術演習5-b		2	演習	○				洋画コース科目			
	美術演習6-b		2	演習	○				洋画コース科目			
	美術演習7-b		2	演習		○			洋画コース科目			
	美術演習8-b		2	演習		○			洋画コース科目			
	美術実習1-b		2	実習	○				洋画コース科目			
	美術実習2-b		2	実習	○				洋画コース科目			
	美術実習3-b		2	実習	○				洋画コース科目			
	美術実習4-b		2	実習	○				洋画コース科目			
	美術実習5-b		2	実習		○			洋画コース科目			
	美術実習6-b		2	実習		○			洋画コース科目			
	美術実習7-b		2	実習		○			洋画コース科目			
	美術実習8-b		2	実習		○			洋画コース科目			
	美術演習2-c		2	演習	○				現代アートコース科目			
	美術演習4-c		2	演習	○				現代アートコース科目			
	美術演習5-c		2	演習	○				現代アートコース科目			
	美術演習6-c		2	演習	○				現代アートコース科目			
美術演習7-c		2	演習		○			現代アートコース科目				
美術演習8-c		2	演習		○			現代アートコース科目				
美術実習1-c		2	実習	○				現代アートコース科目				
美術実習2-c		2	実習	○				現代アートコース科目	写真C(白スタジオ限定) ライセンス			
美術実習3-c		2	実習	○				現代アートコース科目				
美術実習4-c		2	実習	○				現代アートコース科目				
美術実習5-c		2	実習		○			現代アートコース科目				
美術実習6-c		2	実習		○			現代アートコース科目				
美術実習7-c		2	実習		○			現代アートコース科目				
美術実習8-c		2	実習		○			現代アートコース科目				
科研専門 目究門	卒業研究1		4	演習			○				領域の専門研究科目 10単位修得すること	
	卒業研究2		6	演習			○					
芸術応用科目	美術概論		2	講義	○						領域の芸術応用科目 10単位修得すること	
	美術論1		2	講義		○						
	美術論2		2	講義		○						
	美術論3		2	講義			○					
	美術論4		2	講義			○					

学修システム・カリキュラム

美術領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

■ 芸術学科 美術領域 日本画コース スタandardカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程					
		1年		2年		3年		4年					
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
学修システム・カリキュラム	必修科目 /10単位 専門科目/54単位 領域指定科目/54単位 芸術応用科目 /10単位	基礎造形実習1A 絵画・平面表現の基礎 *領域共通科目		基礎造形実習3C 3コースの基礎を 経験① *領域共通科目		美術実習1-a 写生表現		美術実習3-a 静物表現		美術実習5-a 人物表現		美術実習7-a 風景表現	
		基礎造形実習2A 彫刻・立体造形 の基礎 *領域共通科目		基礎造形実習4C 3コースの基礎を 経験 *領域共通科目		美術実習2-a 植物表現		美術実習4-a 動物表現		美術実習6-a コスチューム表現		美術実習8-a 各自のテーマ による表現	
美術領域	領域指定科目/54単位 芸術応用科目 /10単位	美術基礎演習1 美術入門 *領域共通科目		美術基礎演習2 日本・現代・美術 I *領域共通科目 <地域貢献>		美術演習1 古美術研究 *領域共通科目 <地域貢献>		美術演習3 美術の現場 *領域共通科目		美術演習7-a 日本画研究Ⅲ 絵具をつくる		美術演習8-a 日本画研究Ⅳ 現代	
		美術基礎演習2 日本・現代・美術 I *領域共通科目 <地域貢献>		美術演習2-a 材料研究 I 歴史と技法		美術演習4-a 材料研究 II 箔・絹に描く		美術演習5-a 日本画研究 I 古典		美術演習6-a 日本画研究 II マテリアルを知る			
共通教育センター科目	芸術応用科目 /10単位	美術概論 美術概論		美術論1 近代日本画家研究		美術論2 比較絵画論		美術論3 近代以降の絵画と 視覚文化の研究		美術論4 現代アート概論 「彫刻」を キーワードに			
		美術概論 美術概論		美術論1 近代日本画家研究		美術論2 比較絵画論		美術論3 近代以降の絵画と 視覚文化の研究		美術論4 現代アート概論 「彫刻」を キーワードに			
学芸員課程科目	学部受講指定科目 共通教育センター(学部共通)科目	大学入門1		大学入門2		コミュニティ デザイン概論		領域授講推奨科目 ・特別講義3 ・現代美術論A ・現代美術論B ・絵画材料学					
		スタディ スキル実習1		スタディ スキル実習3									
教職課程科目	学部受講指定科目 選択受講指定科目	スタディ スキル実習2		スタディ スキル実習4									
		ファウンダー ション実習A1		ファウンダー ション実習A3									
二級建築士受験資格講座科目	学部受講指定科目 選択受講指定科目	ファウンダー ション実習A2		ファウンダー ション実習A4									
		ファウンダー ション実習B1		ファウンダー ション実習B2									
		キャリア デザイン概論1		キャリア デザイン概論2									
		東洋・日本 美術史概説A		東洋・日本 美術史概説B		芸術基礎科目 4科目8単位以上							
		西洋 美術史概説A		西洋 美術史概説B									
		デザイン史 概説A		デザイン史 概説B									
						芸術応用科目 2科目4単位以上							
						地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上							
						キャリアデザイン科目 1科目2単位以上							

芸術学科 美術領域 洋画コース スタandardカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専修システム・カリキュラム	必 修 科 目 ／ 10 単 位							卒業研究1 卒業研究2	
	専 門 科 目 ／ 54 単 位	基礎造形実習1A 絵画・平面表現の基礎 ＊領域共通科目	基礎造形実習3C 3コースの基礎を 経験① ＊領域共通科目	美術実習1-b 油彩画専門基礎1	美術実習3-b 油彩画専門基礎3	美術実習5-b 方法論の展開	美術実習7-b 自由制作1		
領域指定科目／54単位	↑	基礎造形実習2A 彫刻・立体造形 の基礎 ＊領域共通科目	基礎造形実習4C 3コースの基礎を 経験 ＊領域共通科目	美術実習2-b 油彩画専門基礎2	美術実習4-b 版画技法1 (シルクスクリーン)	美術実習6-b 版画技法2 (リトグラフ・銅版画技法)	美術実習8-b 自由制作2		
		美術基礎演習1 美術入門 ＊領域共通科目	美術基礎演習2 日本・現代・美術Ⅰ ＊領域共通科目 <地域貢献>	美術演習1 古美術研究 ＊領域共通科目 <地域貢献>	美術演習3 美術の現場 ＊領域共通科目	美術演習7-b テーマの発見と 研究計画の立案	美術演習8-b 作家作品研究		
芸術応用科目 ／ 10 単 位	↓	美術概論 美術概論		美術論1 近代日本画家研究	美術論2 比較絵画論	美術論3 近代以降の絵画と 視覚文化の研究	美術論4 現代アート概論 「彫刻」を キーワードに		
				美術論1 近代日本画家研究	美術論2 比較絵画論	美術論3 近代以降の絵画と 視覚文化の研究	美術論4 現代アート概論 「彫刻」を キーワードに		
共通教育センター(学部共通)科目	学部受講指定科目	大学入門1	大学入門2	コミュニティ デザイン概論		領域授講推奨科目 ・特別講義3 ・現代美術論A ・現代美術論B ・絵画材料学			
		スタディ スキル実習1	スタディ スキル実習3						
選択受講指定科目	↓	スタディ スキル実習2	スタディ スキル実習4						
		ファウンデーション実習A1	ファウンデーション実習A3						
		ファウンデーション実習A2	ファウンデーション実習A4						
		ファウンデーション実習B1	ファウンデーション実習B2						
		キャリア デザイン概論1	キャリア デザイン概論2						
		東洋・日本 美術史概説A	東洋・日本 美術史概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上					
		西洋 美術史概説A	西洋 美術史概説B						
		デザイン史 概説A	デザイン史 概説B						
				芸術応用科目 2科目4単位以上					
				地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上					
				キャリアデザイン科目 1科目2単位以上					

学修システム・カリキュラム

美術領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

芸術学科 美術領域 現代アートコース スタandardカリキュラム

		専門導入課程		専門基礎課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
学修システム・カリキュラム	/ 必修科目 10単位							卒業研究1	卒業研究2
美術領域	専門科目 / 54単位	基礎造形実習1A 絵画・平面表現の基礎 *領域共通科目	基礎造形実習3C 3コースの基礎を 経験① *領域共通科目	美術実習1-c 立体表現	美術実習3-c 素材研究	美術実習5-c 学内個展1 (企画・制作・展示)	美術実習7-c グループ展1 (身体表現)		
		基礎造形実習2A 彫刻・立体造形 の基礎 *領域共通科目	基礎造形実習4C 3コースの基礎を 経験 *領域共通科目	美術実習2-c 平面表現	美術実習4-c 場と表現	美術実習6-c 学内個展2 (セルフプロデュース)	美術実習8-c グループ展2 (自由表現)		
共通教育センター科目	/ 10単位	美術基礎演習1 美術入門 *領域共通科目	美術基礎演習2 日本・現代・美術 I *領域共通科目 <地域貢献>	美術演習1 古美術研究 *領域共通科目 <地域貢献>	美術演習3 美術の現場 *領域共通科目	美術演習7-c ポートフォリオ制作	美術演習8-c 分野横断的研究		
				美術演習2-c 現代アート研究	美術演習4-c 社会と表現				
				美術演習5-c 自己と表現	美術演習6-c 複合メディア実験				
			美術概論 美術概論	美術論1 近代日本画家研究	美術論2 比較絵画論	美術論3 近代以降の絵画と 視覚文化の研究	美術論4 現代アート概論 「彫刻」を キーワードに		
学芸員課程科目	学部受講指定科目	大学入門1	大学入門2	コミュニティ デザイン概論	領域授講推奨科目 ・特別講義3 ・現代美術論A ・現代美術論B ・絵画材料学				
		スタディ スキル実習1	スタディ スキル実習3						
教職課程科目	共通教育センター(学部共通)科目	スタディ スキル実習2	スタディ スキル実習4						
		ファウンダー ション実習A1	ファウンダー ション実習A3						
		ファウンダー ション実習A2	ファウンダー ション実習A4						
		ファウンダー ション実習B1	ファウンダー ション実習B2						
		キャリア デザイン概論1	キャリア デザイン概論2						
	選択受講指定科目	東洋・日本 美術史概説A	東洋・日本 美術史概説B	← 芸術基礎科目 4科目8単位以上					
		西洋 美術史概説A	西洋 美術史概説B						
		デザイン史 概説A	デザイン史 概説B						
		芸術応用科目 2科目4単位以上							
		地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上							
		キャリアデザイン科目 1科目2単位以上							

学修システム・カリキュラム

美術領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

■情報デザイン領域人材育成目標について

人・社会・情報環境の関係を視野にいれ、情報伝達の知識、技術、データ分析や操作方法を学ぶ。発見・発想・提案力を身につけ、どのように発信していくかを考察し、デザインの力で新しいコミュニケーションを創造できる人材を育成する。

■情報デザインの特徴・各課程での学びについて

「情報」と「デザイン」の視点から、新しいデザイン表現を創造し、社会をより魅力ある充実したものへ変えていくことができる力を身につける。グラフィックデザイン、情報デザイン、写真、映像分野の授業を共有することで横断的に学び、様々な情報メディアを用いてデザインの新しい地平を開拓していく。

情報デザインでは、以下の4コースを設定します。

- グラフィックデザインコース：グラフィックデザインの世界を広く学び、ビジュアル表現を用いた情報伝達の方法を探求する。
- 情報デザインコース：ビジュアル表現と情報システムの両方を学び、人と社会の新しい関係を探求する。
- 写真コース：写真を核に様々なメディアについて学び、自分だけのテーマによる表現を探求する。
- 映像コース：多様な映像表現を学び、映像を通して社会に伝える力を探求する。

●専門導入課程（1年生）

情報デザイン領域での造形活動の基礎力を身につける。（情報デザインにつながる発想力、知識、印刷、写真、映像・サウンドによる技法および表現）。本領域全コースの基礎を横断的に学ぶ。

●専門基盤課程（2～3年生）

各コースの専門分野の基礎技術及び基礎知識を修得し、独自の自己表現を追究するためのテーマの発展につなげる。また、制作活動を通じて技術力を向上させ、社会への発表活動を通して表現力を充実させる。複合させたメディアによる表現の可能性を広げて行くため、各コースが授業を共有する。

●専門研究課程（4年生）

各自の専門分野において4年間で身につけたことを生かし、表現者として総合的に研究・制作を行う。集大成として4年間の学修成果をまとめ上げる。

芸術学科 情報デザイン領域 平成30(2018)年度以降入学生

カリキュラム	単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	受講方法	
	必修	指定	選択		1年	2年	3年	4年				
専門導入科目	基礎造形実習1A		2	実習	○						基礎造形実習1~4 計8単位を修得すること	
	基礎造形実習2A		2	実習	○							
	基礎造形実習3A		2	実習	○				*学部共通科目 イラストレーション/情報メディア 空間デザイン領域開講科目			
	基礎造形実習4A		2	実習	○							
	基礎造形実習2B		2	実習	○							
	基礎造形実習4B		2	実習	○							
	基礎造形実習3C		2	実習	○							
	基礎造形実習4C		2	実習	○							
	基礎造形実習1D		2	実習	○				*学部共通科目 情報デザイン領域開講科目			
	基礎造形実習2D		2	実習	○				*学部共通科目 情報デザイン領域開講科目	写真Cライセンス		
	基礎造形実習4D		2	実習	○				*学部共通科目 情報デザイン領域開講科目	映像撮影機材C		
	基礎造形実習1E		2	実習	○							
	情報デザイン基礎演習1		2	実習	○				領域共通科目			領域の基礎演習を 4単位修得すること
情報デザイン基礎演習2		2	実習	○				領域共通科目				
専門基盤科目	情報デザイン演習3		2	演習	○				領域共通科目		領域共通専門基盤科目 6単位を修得すること	
	情報デザイン演習7		2	演習		○			領域共通科目			
	情報デザイン演習8		2	演習		○			領域共通科目			
	情報デザイン演習1-a		2	演習	○				写真コース科目			
	情報デザイン演習2-ab		2	演習	○				写真コース科目			
	情報デザイン演習4-a		2	演習	○				写真コース科目			
	情報デザイン演習5-a		2	演習		○			写真コース科目			
	情報デザイン演習6-ad		2	演習		○			写真コース科目			
	情報デザイン実習1-abd		2	実習	○				写真コース科目			
	情報デザイン実習2-a		2	実習	○				写真コース科目			
	情報デザイン実習3-acd		2	実習	○				写真コース科目			
	情報デザイン実習4-abd		2	実習	○				写真コース科目			
	情報デザイン実習5-a		2	実習		○			写真コース科目			
	情報デザイン実習6-a		2	実習		○			写真コース科目			
	情報デザイン実習7-ac		2	実習		○			写真コース科目			
	情報デザイン実習8-abd		2	実習		○			写真コース科目			
	情報デザイン演習1-b		2	演習	○				グラフィックデザインコース科目			
	情報デザイン演習2-ab		2	演習	○				グラフィックデザインコース科目			
	情報デザイン演習4-bcd		2	演習	○				グラフィックデザインコース科目			
	情報デザイン演習5-b		2	演習		○			グラフィックデザインコース科目			
	情報デザイン演習6-b		2	演習		○			グラフィックデザインコース科目			
	情報デザイン実習1-abd		2	実習	○				グラフィックデザインコース科目			
	情報デザイン実習2-bc		2	実習	○				グラフィックデザインコース科目			
	情報デザイン実習3-b		2	実習	○				グラフィックデザインコース科目			
	情報デザイン実習4-abd		2	実習	○				グラフィックデザインコース科目			
	情報デザイン実習5-b		2	実習		○			グラフィックデザインコース科目			
	情報デザイン実習6-b		2	実習		○			グラフィックデザインコース科目			
	情報デザイン実習7-b		2	実習		○			グラフィックデザインコース科目			
	情報デザイン実習8-abd		2	実習		○			グラフィックデザインコース科目			
	情報デザイン演習1-cd		2	演習	○				映像コース科目			コースの専門基盤科目 26単位を修得すること
	情報デザイン演習2-c		2	演習	○				映像コース科目			
	情報デザイン演習4-bcd		2	演習	○				映像コース科目			
	情報デザイン演習5-cd		2	演習		○			映像コース科目			
	情報デザイン演習6-c		2	演習		○			映像コース科目			
	情報デザイン実習1-c		2	実習	○				映像コース科目			
	情報デザイン実習2-bc		2	実習	○				映像コース科目			
	情報デザイン実習3-acd		2	実習	○				映像コース科目			
	情報デザイン実習4-c		2	実習	○				映像コース科目			
	情報デザイン実習5-cd		2	実習		○			映像コース科目			
	情報デザイン実習6-cd		2	実習		○			映像コース科目			
情報デザイン実習7-ac		2	実習		○			映像コース科目				
情報デザイン実習8-c		2	実習		○			映像コース科目				
情報デザイン演習1-cd		2	演習	○				情報デザインコース				
情報デザイン演習2-d		2	演習	○				情報デザインコース				
情報デザイン演習4-bcd		2	演習	○				情報デザインコース				
情報デザイン演習5-cd		2	演習		○			情報デザインコース				
情報デザイン演習6-ad		2	演習		○			情報デザインコース				
情報デザイン実習1-abd		2	実習	○				情報デザインコース				
情報デザイン実習2-d		2	実習	○				情報デザインコース				
情報デザイン実習3-acd		2	実習	○				情報デザインコース				
情報デザイン実習4-abd		2	実習	○				情報デザインコース				
情報デザイン実習5-cd		2	実習		○			情報デザインコース				
情報デザイン実習6-cd		2	実習		○			情報デザインコース				
情報デザイン実習7-d		2	実習		○			情報デザインコース				
情報デザイン実習8-abd		2	実習		○			情報デザインコース				
科研専門	卒業研究1	4		演習			○				領域の専門研究科目を 10単位修得すること	
	卒業研究2	6		演習			○					
情報デザイン概論	情報デザイン概論		2	講義	○						領域の芸術応用科目 10単位修得すること	
	情報デザイン論1		2	講義		○						
	情報デザイン論2		2	講義		○						
	情報デザイン論3		2	講義			○					
情報デザイン論4		2	講義				○					

学修システム・カリキュラム

平成30(2018)年度以降入学生
情報デザイン領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

■ 芸術学科 情報デザイン領域 写真コース
平成30(2018)年度以降入学生 スタandardカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期または後期		前期	後期	前期	後期	前期	後期
学修システム・カリキュラム	必 修 科 目 / 10 単 位							卒業研究1 コンテンツ研究・ 制作・発表	卒業研究2 コンテンツ研究・ 制作・発表
		基礎造形実習1D 情報デザイン基礎	基礎造形実習2D 写真基礎	情報デザイン 実習1-abd 写真中級1 (CM写真含む)	情報デザイン 実習2-a 写真中級2 (プリント法含む)	情報デザイン 実習5-a 写真上級1	情報デザイン 実習6-a 写真上級2		
平成30(2018)年度以降入学生 情報デザイン領域	専 門 科 目 / 54 単 位	基礎造形実習3A グラフィック デザイン基礎	基礎造形実習4D 映像基礎	情報デザイン 実習3-acd ネットワーク配信	情報デザイン 実習4-abd タイポグラフィ/組版基礎/ エディトリアル基礎	情報デザイン 実習7-ac ドキュメンタリー	情報デザイン 実習8-abd ソーシャルデザイン		
		情報デザイン 基礎演習1 写真・グラフィック デザイン基礎	情報デザイン 基礎演習2 情報デザイン・ 映像基礎	情報デザイン 演習1-a 写真表現研究	情報デザイン 演習2-ab 広告デザイン基礎	情報デザイン 演習5-a 社会性自己研究	情報デザイン 演習6-ad ARアプリケーション		
共通教育センター科目	領 域 指 定 科 目 / 54 単 位			情報デザイン 演習3 Webアニメーション (Animate)	情報デザイン 演習4-a 写真作家研究	情報デザイン 演習7 Webデザイン1	情報デザイン 演習8 Webデザイン2 (HTML,ポートフォリオなど)		
				情報デザイン 概論 情報デザイン入門	情報 デザイン論1 写真史	情報 デザイン論2 グラフィック デザイン史	情報 デザイン論3 情報デザイン史	情報 デザイン論4 映画史	
芸術 応 用 科 目 / 10 単 位	専 門 科 目 / 54 単 位			コミュニティ デザイン概論		領域授講推奨科目 ・メディアアート概論			
				大学入門1	大学入門2				
学芸員課程科目	専 門 科 目 / 54 単 位	スタディ スキル実習1	スタディ スキル実習3						
		スタディ スキル実習2	スタディ スキル実習4						
共通教育センター(学部共通)科目	専 門 科 目 / 54 単 位	ファウンデ ーション実習A1	ファウンデ ーション実習A3						
		ファウンデ ーション実習A2	ファウンデ ーション実習A4						
教職課程科目	専 門 科 目 / 54 単 位	ファウンデ ーション実習B1	ファウンデ ーション実習B2						
		キャリア デザイン概論1	キャリア デザイン概論2						
二級建築士受験資格講座科目	専 門 科 目 / 54 単 位	東洋・日本 美術史概説A	東洋・日本 美術史概説B						
		西洋 美術史概説A	西洋 美術史概説B						
		デザイン史 概説A	デザイン史 概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上					
				芸術応用科目 2科目4単位以上					
				地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上					
				キャリアデザイン科目 1科目2単位以上					

■ 芸術学科 情報デザイン領域 グラフィックデザインコース
平成30(2018)年度以降入学生 スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程									
		1年		2年		3年		4年									
		前期または後期		前期	後期	前期	後期	前期	後期								
専攻科目 10単位 専攻科目 54単位 専攻科目 10単位	必 修 科 目 領域指定科目 54単位	基礎造形実習1D 情報デザイン基礎		基礎造形実習2D 写真基礎		情報デザイン実習1-abd 写真中級1 (CM写真含む)		情報デザイン実習2-bc 広告映像		情報デザイン実習5-b 広告/パッケージ		情報デザイン実習6-b アートディレクション		卒業研究1 コンテンツ研究・制作・発表		卒業研究2 コンテンツ研究・制作・発表	
		基礎造形実習3A グラフィックデザイン基礎		基礎造形実習4D 映像基礎		情報デザイン実習3-b 印刷のしくみ/版表現		情報デザイン実習4-abd タイポグラフィ/組版基礎/エディトリアル基礎		情報デザイン実習7-b エディトリアルデザイン		情報デザイン実習8-abd ソーシャルデザイン					
		情報デザイン基礎演習1 写真・グラフィックデザイン基礎		情報デザイン基礎演習2 情報デザイン・映像基礎		情報デザイン演習1-b パッケージ造形基礎		情報デザイン演習2-ab 広告デザイン基礎		情報デザイン演習5-b リテールグラフィック・商品企画・ブランディング		情報デザイン演習6-b インフォグラフィック					
				情報デザイン演習3 Webアニメーション (Animate)		情報デザイン演習4-bcd 映像編集 (After Effects)		情報デザイン演習7 Webデザイン1		情報デザイン演習8 Webデザイン2 (HTML, ポートフォリオサイトなど)							
				情報デザイン概論 情報デザイン入門		情報デザイン論1 写真史		情報デザイン論2 グラフィックデザイン史		情報デザイン論3 情報デザイン史		情報デザイン論4 映画史					
芸術 応用 科 目 10単位 共通教育センター(学部共通)科目		学部 受 講 指 定 科 目		大学入門1		大学入門2		コミュニティデザイン概論		領域授講推奨科目 ・メディアアート概論							
				スタディスキル実習1		スタディスキル実習3											
		スタディスキル実習2		スタディスキル実習4													
		ファウンデーション実習A1		ファウンデーション実習A3													
		ファウンデーション実習A2		ファウンデーション実習A4													
		ファウンデーション実習B1		ファウンデーション実習B2													
		キャリアデザイン概論1		キャリアデザイン概論2													
選 択 受 講 指 定 科 目		東洋・日本美術史概説A		東洋・日本美術史概説B		芸術基礎科目 4科目8単位以上											
		西洋美術史概説A		西洋美術史概説B													
		デザイン史概説A		デザイン史概説B													
						芸術応用科目 2科目4単位以上											
						地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上											
						キャリアデザイン科目 1科目2単位以上											

学修システム・カリキュラム

平成30(2018)年度以降入学生
情報デザイン領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

芸術学科 情報デザイン領域 映像コース
平成30(2018)年度以降入学生 スタンドアードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期または後期		前期	後期	前期	後期	前期	後期
専攻科目 10単位	必 修 科 目							卒業研究1 コンテンツ研究・ 制作・発表	卒業研究2 コンテンツ研究・ 制作・発表
		基礎造形実習1D 情報デザイン基礎	基礎造形実習2D 写真基礎	情報デザイン 実習1-c 映像撮影機材全般	情報デザイン 実習2-bc 広告映像	情報デザイン 実習5-cd エクスペリメンタル デザイン	情報デザイン 実習6-cd インスタレーション		
専攻科目 54単位	領 域 指 定 科 目 54単位	基礎造形実習3A グラフィック デザイン基礎	基礎造形実習4D 映像基礎	情報デザイン 実習3-acd ネットワーク配信	情報デザイン 実習4c アニメーション	情報デザイン 実習7-ac ドキュメンタリー	情報デザイン 実習8-c シナリオ・ストーリー		
		情報デザイン 基礎演習1 写真・グラフィック デザイン基礎	情報デザイン 基礎演習2 情報デザイン・ 映像基礎	情報デザイン 演習1-cd サウンドデザイン	情報デザイン 演習2-c 映像作家研究	情報デザイン 演習5-cd iPad アプリケーション	情報デザイン 演習6-c 映像社会学		
専攻科目 10単位	専 攻 科 目 54単位			情報デザイン 演習3 Webアニメーション (Animate)	情報デザイン 演習4-bcd 映像編集 (After Effects)	情報デザイン 演習7 Webデザイン1	情報デザイン 演習8 Webデザイン2 (HTML, ポートフォリオサイトなど)		
				情報デザイン 概論 情報デザイン入門	情報 デザイン論1 写真史	情報 デザイン論2 グラフィック デザイン史	情報 デザイン論3 情報デザイン史	情報 デザイン論4 映画史	
専攻科目 10単位	専 攻 科 目 54単位			コミュニティ デザイン概論		領域授講推奨科目 ・メディアアート概論			
		大学入門1	大学入門2						
専攻科目 10単位	専 攻 科 目 54単位	スタディ スキル実習1	スタディ スキル実習3						
		スタディ スキル実習2	スタディ スキル実習4						
専攻科目 10単位	専 攻 科 目 54単位	ファウンデ ーション実習A1	ファウンデ ーション実習A3						
		ファウンデ ーション実習A2	ファウンデ ーション実習A4						
専攻科目 10単位	専 攻 科 目 54単位	ファウンデ ーション実習B1	ファウンデ ーション実習B2						
		キャリア デザイン概論1	キャリア デザイン概論2						
専攻科目 10単位	専 攻 科 目 54単位	東洋・日本 美術史概説A	東洋・日本 美術史概説B						
		西洋 美術史概説A	西洋 美術史概説B						
専攻科目 10単位	専 攻 科 目 54単位	デザイン史 概説A	デザイン史 概説B						
				芸術基礎科目 4科目8単位以上					
				芸術応用科目 2科目4単位以上					
				地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上					
				キャリアデザイン科目 1科目2単位以上					

学修システム・カリキュラム

平成30(2018)年度以降入学生
情報デザイン領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

■ 芸術学科 情報デザイン領域 情報デザインコース
平成30(2018)年度以降入学生 スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期または後期		前期	後期	前期	後期	前期	後期
専攻科目 /10単位 必修科目 専攻科目 / 54単位 領域指定科目 / 54単位 芸術応用科目 /10単位	専攻科目 / 54単位 領域指定科目 / 54単位	基礎造形実習1D 情報デザイン基礎		基礎造形実習2D 写真基礎		情報デザイン実習1-abd 写真中級1 (CM写真含む)		情報デザイン実習2-d UI/UXデザイン-1	
		基礎造形実習3A グラフィックデザイン基礎		基礎造形実習4D 映像基礎		情報デザイン実習3-acd ネットワーク配信		情報デザイン実習4-abd タイポグラフィ/組版基礎/エディトリアル基礎	
		情報デザイン基礎演習1 写真・グラフィックデザイン基礎		情報デザイン基礎演習2 情報デザイン・映像基礎		情報デザイン演習1-cd サウンドデザイン		情報デザイン演習2-d プログラミング・ジェネレイティブデザイン	
				情報デザイン演習3 Webアニメーション (Animate)		情報デザイン演習4-bcd 映像編集 (After Effects)		情報デザイン実習6-cd インスタレーション	
						情報デザイン演習5-cd iPad アプリケーション		情報デザイン実習7-d UI/UXデザイン-2	
						情報デザイン演習6-ad ARアプリケーション		情報デザイン実習8-abd ソーシャルデザイン	
				情報デザイン演習7 Webデザイン1		情報デザイン演習8 Webデザイン2 (HTML, ポートフォリオサイトなど)		卒業研究1 コンテンツ研究・制作・発表	
				情報デザイン演習8 Webデザイン2 (HTML, ポートフォリオサイトなど)				卒業研究2 コンテンツ研究・制作・発表	
		情報デザイン概論 情報デザイン入門		情報デザイン論1 写真史		情報デザイン論2 グラフィックデザイン史			
				情報デザイン論3 情報デザイン史		情報デザイン論4 映画史			
学部受講指定科目 共通教育センター(学部共通)科目 選択受講指定科目		大学入門1		大学入門2		コミュニティデザイン概論			
		スタディスキル実習1		スタディスキル実習3				領域授講推奨科目 ・メディアアート概論	
		スタディスキル実習2		スタディスキル実習4					
		ファウンデーション実習A1		ファウンデーション実習A3					
		ファウンデーション実習A2		ファウンデーション実習A4					
		ファウンデーション実習B1		ファウンデーション実習B2					
		キャリアデザイン概論1		キャリアデザイン概論2					
		東洋・日本美術史概説A		東洋・日本美術史概説B		芸術基礎科目 4科目8単位以上			
		西洋美術史概説A		西洋美術史概説B					
		デザイン史概説A		デザイン史概説B					
						芸術応用科目 2科目4単位以上			
						地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上			
						キャリアデザイン科目 1科目2単位以上			

学修システム・カリキュラム

平成30(2018)年度以降入学生
情報デザイン領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

■メディアデザイン領域人材育成目標について

さまざまなメディアについて基礎から学び、応用力を培いながら複数のメディアをまたぐメディアミックスによる表現の可能性を広げる。それとともに社会や文化について思索を深め、次世代に対応した新しいコミュニケーションを創造できる人材を育成する。

■メディアデザインの特色・各課程での学びについて

メディアデザイン領域では、写真・グラフィックデザイン・映像について基礎から学び、メディアミックスによる表現の可能性を広げていく。

情報を発信する人と受信する人をつなぐインタフェースを、より魅力的なものとして提案していくことが「メディアデザイン」の役割。そのために、社会や文化について自分自身で考える力や、コミュニケーション能力を育む。

●専門導入課程（1年生）

メディアデザイン領域での造形活動の基礎力を身につける。（発想力、知識、描写力、映像、写真、グラフィックデザインによる表現）

●専門基盤課程（2～3年生）

各コースの専門分野で学ぶための基礎技術の習得及び基礎知識を修得し、独自の自己表現を追究するためのテーマの発展につなげる。また、制作活動を通じて技術力を向上させ、社会への発表活動を通して表現力を充実させる。

●専門研究課程（4年生）

各自の専門分野表現者としての総合力を研究・制作を行う。また集大成として4年間の学修成果をまとめ上げる。

芸術学科 メディアデザイン領域 平成29(2017)年度以前入学生

カリキュラム	単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	受講方法
	必修	指定	選択		1年	2年	3年	4年			
専門導入科目	基礎造形実習1A		2	実習	○				*学科共通科目 メディアデザイン領域開講科目		領域の履修計画に基づき基礎造形実習1~4計8単位を修得すること
	基礎造形実習2A		2	実習	○						
	基礎造形実習3A		2	実習	○				*学科共通科目 メディアデザイン領域開講科目		
	基礎造形実習4A		2	実習	○						
	基礎造形実習2B		2	実習	○						
	基礎造形実習4B		2	実習	○						
	基礎造形実習3C		2	実習	○						
	基礎造形実習4C		2	実習	○						
	基礎造形実習2D		2	実習	○				*学科共通科目 メディアデザイン領域開講科目	写真Cライセンス	
	基礎造形実習4D		2	実習	○				*学科共通科目 メディアデザイン領域開講科目	映像撮影機材C	
メディアデザイン基礎演習1		2	演習	○				領域共通科目		領域の基礎演習を4単位修得すること	
メディアデザイン基礎演習2		2	演習	○				領域共通科目			
メディアデザイン演習1		2	演習					領域共通科目	DTPルームライセンス	領域共通専門基盤科目を8単位を修得すること	
メディアデザイン演習2		2	演習	○				領域共通科目	DTPルームライセンス		
メディアデザイン演習3		2	演習	○				領域共通科目	DTPルームライセンス		
メディアデザイン演習4		2	演習	○				領域共通科目	DTPルームライセンス		
メディアデザイン演習7-a		2	演習	○	○			領域共通選択科目		領域共通選択科目を4単位修得すること	
メディアデザイン演習7-b		2	演習			○		領域共通選択科目			
メディアデザイン演習7-c		2	演習			○		領域共通選択科目			
メディアデザイン演習7-d		2	演習			○		領域共通選択科目			
メディアデザイン演習8-a		2	演習			○		領域共通選択科目		コース専門の基盤科目を20単位修得すること	
メディアデザイン演習8-b		2	演習			○		領域共通選択科目			
メディアデザイン演習8-c		2	演習			○		領域共通選択科目			
メディアデザイン演習8-d		2	演習			○		領域共通選択科目			
メディアデザイン演習5-a		2	演習			○		写真コース科目		コース専門の基盤科目を20単位修得すること	
メディアデザイン演習6-a		2	演習			○		写真コース科目			
メディアデザイン実習1-ac		2	実習	○				写真コース科目	映像サウンド機材C、映像サウンド機材B、映像照明機材B、プロードキャストスタジオ(スタジオ/調整室)、コンピュータスタジオAライセンス		
メディアデザイン実習2-a		2	実習	○				写真コース科目	DTPルームライセンス		
メディアデザイン実習3-a		2	実習	○				写真コース科目	写真Bライセンス、プロフォトB・Fライセンス		
メディアデザイン実習4-a		2	実習	○				写真コース科目	写真B(暗室系、写真コンピューター)ライセンス		
メディアデザイン実習5-a		2	実習			○		写真コース科目			
メディアデザイン実習6-a		2	実習			○		写真コース科目			
メディアデザイン実習7-a		2	実習			○		写真コース科目			
メディアデザイン実習8-a		2	実習			○		写真コース科目			
メディアデザイン演習5-b		2	演習			○		グラフィックデザインコース科目			
メディアデザイン演習6-b		2	演習			○		グラフィックデザインコース科目			
メディアデザイン実習1-b		2	実習					グラフィックデザインコース科目	DTPルームライセンス		
メディアデザイン実習2-b		2	実習	○				グラフィックデザインコース科目	DTPルームライセンス		
メディアデザイン実習3-b		2	実習	○				グラフィックデザインコース科目	写真B(スタジオ撮影系)、DTPルームライセンス、プロフォトB・Fライセンス		
メディアデザイン実習4-b		2	実習	○				グラフィックデザインコース科目			
メディアデザイン実習5-b		2	実習	○	○			グラフィックデザインコース科目			
メディアデザイン実習6-b		2	実習			○		グラフィックデザインコース科目			
メディアデザイン実習7-b		2	実習			○		グラフィックデザインコース科目			
メディアデザイン実習8-b		2	実習			○		グラフィックデザインコース科目			
メディアデザイン演習5-c		2	演習			○		映像・放送コース科目			
メディアデザイン演習6-c		2	演習			○		映像・放送コース科目			
メディアデザイン実習1-ac		2	実習			○		映像・放送コース科目	映像サウンド機材C、映像サウンド機材B、映像照明機材B、プロードキャストスタジオ(スタジオ/調整室)、コンピュータスタジオAライセンス		
メディアデザイン実習2-c		2	実習			○		映像・放送コース科目	映像サウンド機材C、コンピュータスタジオAライセンス		
メディアデザイン実習3-cd		2	実習			○		映像・放送コース科目	写真B(撮影用品)、コンピュータスタジオAライセンス		
メディアデザイン実習4-c		2	実習			○		映像・放送コース科目	映像撮影機材B、映像照明機材B、スタビライザー(ROBIN)、映像サウンド機材B、映像サウンド機材C、コンピュータスタジオA、プロードキャストスタジオ(スタジオ/調整室)、シンプルスタジオ、写真B(撮影用品)ライセンス		
メディアデザイン実習5-c		2	実習			○		映像・放送コース科目			
メディアデザイン実習6-c		2	実習			○		映像・放送コース科目			
メディアデザイン実習7-c		2	実習			○		映像・放送コース科目			
メディアデザイン実習8-c		2	実習			○		映像・放送コース科目			
メディアデザイン演習5-d		2	演習			○		アニメーション・CGコース科目			
メディアデザイン演習6-d		2	演習			○		アニメーション・CGコース科目			
メディアデザイン実習1-d		2	実習	○				アニメーション・CGコース科目	映像サウンド機材C、コンピュータスタジオBライセンス		
メディアデザイン実習2-d		2	実習	○				アニメーション・CGコース科目	コンピュータスタジオBライセンス		
メディアデザイン実習3-cd		2	実習	○				アニメーション・CGコース科目	写真B(撮影用品)、コンピュータスタジオAライセンス		
メディアデザイン実習4-d		2	実習	○				アニメーション・CGコース科目	コンピュータスタジオAライセンス		
メディアデザイン実習5-d		2	実習			○		アニメーション・CGコース科目			
メディアデザイン実習6-d		2	実習			○		アニメーション・CGコース科目			
メディアデザイン実習7-d		2	実習			○		アニメーション・CGコース科目			
メディアデザイン実習8-d		2	実習			○		アニメーション・CGコース科目			
科専目究門	卒業研究1		4	演習				○			領域の専門研究科目を10単位修得すること
	卒業研究2		6	演習				○			
芸術応用科目	メディアデザイン概論		2	講義	○						領域の芸術応用科目を10単位修得すること
	メディアデザイン論1		2	講義			○				
	メディアデザイン論2		2	講義			○				
	メディアデザイン論3		2	講義				○			
	メディアデザイン論4		2	講義				○			

学修システム・カリキュラム

平成29(2017)年度以前入学生
メディアデザイン領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

一級建築士受験資格講座科目

芸術学科 メディアデザイン領域 写真コース
平成29(2017)年度以前入学生 スタANDARDカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専攻科目 10単位	必 修 科 目							卒業研究1	卒業研究2
		基礎造形実習1A 描写基礎 *領域共通科目	基礎造形実習3A グラフィック デザイン基礎 *領域共通科目	メディアデザイン 実習1-ac テレビ番組の 企画と制作	メディアデザイン 実習2-a グラフィックデザイン 基礎から応用	メディアデザイン 実習5-a 写真の原理と実験	メディアデザイン 実習6-a 写真による表現力・ 技術力の向上		
専攻科目 54単位	領域 指 定 科 目 54単位	基礎造形実習2D 写真基礎 *領域共通科目	基礎造形実習4D 映像・ アニメーション基礎 *領域共通科目	メディアデザイン 実習3-a 学内の機材・設備/ 写真表現技術	メディアデザイン 実習4-a 写真作品制作の流れ/ テーマの発見	メディアデザイン 実習7-a 個々の作品テーマ を見つける	メディアデザイン 実習8-a 個展に向けた作品 制作		
		メディアデザイン 基礎演習1 写真・GD *領域共通科目	メディアデザイン 基礎演習2 シナリオ・絵コンテ *領域共通科目	メディア デザイン演習1 Webサイト企画 *領域共通科目	メディア デザイン演習2 Webサイト制作 *領域共通科目	メディアデザイン 演習5-a 作品制作のための 作家研究 *写真コース必修科目	メディアデザイン 演習6-a 写真術の歴史の変遷から 将来の予測する力を養う *写真コース必修科目		
専攻科目 10単位	芸術 応 用 科 目 10単位			メディア デザイン演習3 情報デザイン/構造デザインの応用1 Web制作基礎 *領域共通科目	メディア デザイン演習4 情報デザイン/構造デザインの応用2 Web制作応用 *領域共通科目	メディア デザイン演習7-a ドキュメンタリーの企画 *領域共通選択科目	メディア デザイン演習8-a ドキュメンタリーの実制作 *領域共通選択科目		
				選択 2科目4単位 選択履修		メディア デザイン演習7-b インタフェース研究1 *領域共通選択科目	メディア デザイン演習8-b インタフェース研究2 *領域共通選択科目		
				メディア デザイン論1 写真史	メディア デザイン論2 グラフィックデザイン史	メディア デザイン論3 映画史	メディア デザイン論4 アニメーション史		
専攻科目 10単位	芸術 応 用 科 目 10単位			コミュニティ デザイン概論		領域授講推奨科目 ・メディアアート概論			
		大学入門1	大学入門2						
専攻科目 10単位	芸術 応 用 科 目 10単位	スタディ スキル実習1	スタディ スキル実習3						
		スタディ スキル実習2	スタディ スキル実習4						
専攻科目 10単位	芸術 応 用 科 目 10単位	ファウンデ ーション実習A1	ファウンデ ーション実習A3						
		ファウンデ ーション実習A2	ファウンデ ーション実習A4						
専攻科目 10単位	芸術 応 用 科 目 10単位	ファウンデ ーション実習B1	ファウンデ ーション実習B2						
		キャリア デザイン概論1	キャリア デザイン概論2						
専攻科目 10単位	芸術 応 用 科 目 10単位	東洋・日本 美術史概説A	東洋・日本 美術史概説B						
		西洋 美術史概説A	西洋 美術史概説B						
専攻科目 10単位	芸術 応 用 科 目 10単位	デザイン史 概説A	デザイン史 概説B						
				芸術基礎科目 4科目8単位以上					
				芸術応用科目 2科目4単位以上					
				地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上					
				キャリアデザイン科目 1科目2単位以上					

学修システム・カリキュラム

平成29(2017)年度以前入学生
メディアデザイン領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

就職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

芸術学科 メディアデザイン領域 グラフィックデザインコース
平成29(2017)年度以前入学生 スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程		
		1年		2年		3年		4年		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
学修システム・カリキュラム	必 修 科 目 ／ 10 単 位							卒業研究1	卒業研究2	
平成29(2017)年度以前入学生 メディアデザイン領域	専 門 科 目 ／ 54 単 位	基礎造形実習1A 描写基礎 *領域共通科目	基礎造形実習3A グラフィックデザイン基礎 *領域共通科目	メディアデザイン実習1-b タイポグラフィ・組版	メディアデザイン実習2-b 製版・シルクスクリーン	メディアデザイン実習5-b エディトリアルデザイン	メディアデザイン実習6-b アートディレクション<地域貢献>			
		基礎造形実習2D 写真基礎 *領域共通科目	基礎造形実習4D 映像・アニメーション基礎 *領域共通科目	メディアデザイン実習3-b グラフィックデザインにおける写真	メディアデザイン実習4-b 広告デザイン	メディアデザイン実習7-b パッケージデザイン<地域貢献>	メディアデザイン実習8-b Web広告			
共通教育センター科目	専 門 科 目 ／ 54 単 位	メディアデザイン基礎演習1 写真・GD *領域共通科目	メディアデザイン基礎演習2 シナリオ・絵コンテ *領域共通科目	メディアデザイン演習1 Webサイト企画 *領域共通科目	メディアデザイン演習2 Webサイト制作 *領域共通科目	メディアデザイン演習5-b インフォメショナルデザイン	メディアデザイン演習6-b ブランディング			
				メディアデザイン演習3 情報デザイン/グラフィックデザインへの応用1 Web制作基礎 *領域共通科目	メディアデザイン演習4 情報デザイン/グラフィックデザインへの応用2 Web制作応用 *領域共通科目	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> メディアデザイン演習7-a ドキュメンタリーの企画 *領域共通選択科目 メディアデザイン演習7-b インタフェース研究1 *領域共通選択科目 メディアデザイン演習7-c モーショングラフィックス *領域共通選択科目 メディアデザイン演習7-d パース(背景美術) *領域共通選択科目 メディアデザイン演習8-a ドキュメンタリーの実制作 *領域共通選択科目 メディアデザイン演習8-b インタフェース研究2 *領域共通選択科目 メディアデザイン演習8-c インスタレーション(メディアデザインにおける空間展示) *領域共通選択科目 メディアデザイン演習8-d ポートフォリオスケッチ・デッサン *領域共通選択科目 </div>				
芸術応用科目 ／ 10 単 位	専 門 科 目 ／ 54 単 位			メディアデザイン概論1 メディアの歴史	メディアデザイン論1 写真史	メディアデザイン論2 グラフィックデザイン史	メディアデザイン論3 映画史	メディアデザイン論4 アニメーション史		
共通教育センター科目 (学部共通)科目	学 部 受 講 指 定 科 目	大学入門1	大学入門2	コミュニティデザイン概論		領域授講推奨科目 ・メディアアート概論				
		スタディスキル実習1	スタディスキル実習3							
二級建築士受験資格講座科目	学 部 受 講 指 定 科 目	スタディスキル実習2	スタディスキル実習4							
		ファウンデーション実習A1	ファウンデーション実習A3							
		ファウンデーション実習A2	ファウンデーション実習A4							
		ファウンデーション実習B1	ファウンデーション実習B2							
		キャリアデザイン概論1	キャリアデザイン概論2							
		東洋・日本美術史概説A	東洋・日本美術史概説B							
		西洋美術史概説A	西洋美術史概説B							
		デザイン史概説A	デザイン史概説B							
				芸術基礎科目 4科目8単位以上						
				芸術応用科目 2科目4単位以上						
				地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上						
				キャリアデザイン科目 1科目2単位以上						

選択 2科目4単位
選択履修

芸術基礎科目
4科目8単位以上

芸術学科 メディアデザイン領域 映像・放送コース
平成29(2017)年度以前入学生 スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程			
		1年		2年		3年		4年			
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
必修科目 /10単位 ↑ 専門科目/54単位 ↓ 領域指定科目/54単位 ↓ 芸術応用科目 /10単位	学部受講指定科目 ↓ 選択受講指定科目	基礎造形実習1A 描写基礎 *領域共通科目 基礎造形実習2D 写真基礎 *領域共通科目 メディアデザイン基礎演習1 写真・GD *領域共通科目		基礎造形実習3A グラフィックデザイン基礎 *領域共通科目 基礎造形実習4D 映像・アニメーション基礎 *領域共通科目 メディアデザイン基礎演習2 シナリオ・絵コンテ *領域共通科目		メディアデザイン実習1-ac テレビ番組の企画と制作 メディアデザイン実習2-c サウンド実習 メディアデザイン実習3-cd 人形アニメ(カメラワーク・絵コンテ) メディアデザイン実習4-c 実写映像の撮影、編集技法 メディアデザイン演習1 Webサイト企画 *領域共通科目 メディアデザイン演習2 Webサイト制作 *領域共通科目 メディアデザイン演習3 情報デザイン/メディアデザインの応用1 Web制作基礎 *領域共通科目 メディアデザイン演習4 情報デザイン/メディアデザインの応用2 Web制作応用 *領域共通科目		メディアデザイン実習6-c 映像の実験 メディアデザイン実習5-c ドキュメンタリー作品制作 メディアデザイン実習7-c シナリオ制作 メディアデザイン実習8-c ドラマ制作 メディアデザイン演習6-c 作家研究 メディアデザイン演習5-c 映像社会学 メディアデザイン演習7-a ドキュメンタリーの企画 *領域共通選択科目 メディアデザイン演習7-b インタフェース研究1 *領域共通選択科目 メディアデザイン演習7-c モーショングラフィクス *領域共通選択科目 メディアデザイン演習7-d パース(背景美術) *領域共通選択科目 メディアデザイン演習8-a ドキュメンタリーの実制作 *領域共通選択科目 メディアデザイン演習8-b インタフェース研究2 *領域共通選択科目 メディアデザイン演習8-c インストールショー(メディアデザインにおける空間展示) *領域共通選択科目 メディアデザイン演習8-d ポートフォリオスケッチ・デッサン *領域共通選択科目		卒業研究1 卒業研究2	
		メディアデザイン概論1 メディアの歴史 メディアデザイン論3 映画史 メディアデザイン論4 アニメーション史 メディアデザイン論1 写真史 メディアデザイン論2 グラフィックデザイン史		コミュニティデザイン概論		領域授講推奨科目 ・メディアアート概論					
		大学入門1 大学入門2 スタディスキル実習1 スタディスキル実習3 スタディスキル実習2 スタディスキル実習4 ファウンデーション実習A1 ファウンデーション実習A3 ファウンデーション実習A2 ファウンデーション実習A4 ファウンデーション実習B1 ファウンデーション実習B2 キャリアデザイン概論1 キャリアデザイン概論2		芸術基礎科目 4科目8単位以上							
		東洋・日本美術史概説A 東洋・日本美術史概説B 西洋美術史概説A 西洋美術史概説B デザイン史概説A デザイン史概説B		芸術基礎科目 4科目8単位以上							
				芸術応用科目 2科目4単位以上 地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上 キャリアデザイン科目 1科目2単位以上							

学修システム・カリキュラム

平成29(2017)年度以前入学生
メディアデザイン領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

就職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

芸術学科 メディアデザイン領域 アニメーション・CGコース
平成28(2016)年度以前入学生 スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程				
		1年		2年		3年		4年				
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
学修システム・カリキュラム 平成29(2017)年度以前入学生 メディアデザイン領域 共通教育センター科目 学芸員課程科目 教職課程科目 二級建築士受験資格講座科目	必修科目 /10単位 専門科目/54単位 領域指定科目/54単位	基礎造形実習1A 描写基礎 *領域共通科目 基礎造形実習2D 写真基礎 *領域共通科目 メディアデザイン基礎演習1 写真・GD *領域共通科目		基礎造形実習3A グラフィックデザイン基礎 *領域共通科目 基礎造形実習4D 映像・アニメーション基礎 *領域共通科目 メディアデザイン基礎演習2 シナリオ・絵コンテ *領域共通科目		メディアデザイン実習1-d 3DCG基礎 メディアデザイン実習2-d VFX(After Effects&3ds Max) メディアデザイン実習3-cd 人形アニメ(カメラワーク・絵コンテ) メディアデザイン実習4-d 作画基礎(RETAS!) メディアデザイン演習1 Webサイト企画 *領域共通科目 メディアデザイン演習3 情報デザイン/メディアデザインの応用1 Web制作基礎 *領域共通科目		メディアデザイン実習5-d キャラクターデザイン メディアデザイン実習6-d 企画構想イメージボード メディアデザイン実習7-d 作品制作・グループワーク <地域貢献> メディアデザイン実習8-d 作品制作 メディアデザイン演習5-d キャラクターデザイン メディアデザイン演習6-d 絵本制作 メディアデザイン演習7-a ドキュメンタリーの企画 *領域共通選択科目 メディアデザイン演習7-b インタフェース研究1 *領域共通選択科目 メディアデザイン演習7-c モーショングラフィックス *領域共通選択科目 メディアデザイン演習7-d パース(背景美術) *領域共通選択科目		メディアデザイン演習8-a ドキュメンタリーの実制作 *領域共通選択科目 メディアデザイン演習8-b インタフェース研究2 *領域共通選択科目 メディアデザイン演習8-c インスタレーション(メディアデザインにおける空間展示) *領域共通選択科目 メディアデザイン演習8-d ポートフォリオスケッチ・デッサン *領域共通選択科目		卒業研究1 卒業研究2
	芸術応用科目 /10単位 学部受講指定科目 共通教育センター(学部共通)科目 選択受講指定科目	メディアデザイン概論1 メディアの歴史		メディアデザイン論3 映画史 メディアデザイン論4 アニメーション史		メディアデザイン論1 写真史 メディアデザイン論2 グラフィックデザイン史		領域授講推奨科目 ・メディアアート概論				
		大学入門1 大学入門2 スタディスキル実習1 スタディスキル実習3 スタディスキル実習2 スタディスキル実習4 ファウンデーション実習A1 ファウンデーション実習A3 ファウンデーション実習A2 ファウンデーション実習A4 ファウンデーション実習B1 ファウンデーション実習B2 キャリアデザイン概論1 キャリアデザイン概論2		コミュニティデザイン概論								
		東洋・日本美術史概説A 東洋・日本美術史概説B 西洋美術史概説A 西洋美術史概説B デザイン史概説A デザイン史概説B		芸術基礎科目 4科目8単位以上								
		芸術応用科目 2科目4単位以上 地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上 キャリアデザイン科目 1科目2単位以上										

空間デザイン領域

■空間デザイン領域人材育成目標について

生活の基本要素である「衣」・「モノ」・「住」をキーワードに、素材と向き合い、ものごとやしくみを形に表現する力を育み、「発見」から「表現」「構築」、さらには社会に対して多様な価値を提案できる人材を育成します。

■空間デザイン領域の特色・各課程での学びについて

空間デザイン領域が対象とする分野は、雑貨・衣服・テキスタイル・機器・家具・住宅など私たちの生活を取り巻くあらゆるものにおよんでいます。公共空間やショップ、ブランディング、身体表現、素材づくりからインスタレーションまで空間を創造し表現するための分野を横断的に学ぶことができます。

●専門導入課程（1年生）

1年次では立体・素材・人体を中心に発想や造形など、2年次以降それぞれの専門を学ぶために必要な共通の基礎を学びます。あらゆるものごとに対する好奇心を大切に、発見から発想につなげることのできる能力を養います。

●専門基盤課程（2～3年生）

2～3年次では専門の知識や技能を習得し、独自の考え方と視点を獲得します。また社会と自分を深く見つめることで問題や制作に向きあう姿勢を身につけ、4年次での自律的な研究過程に備えます。

●専門研究課程（4年生）

4年次では、自らの進路を見すえて自律的に研究を行い、社会に対して具体的な提案を行います。自ら企画して行動に起こし成し遂げる、世の中で必要とされる人材をめざします。

芸術学科 空間デザイン領域

カリキュラム	単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	受講方法
	必修	指定	選択		1年	2年	3年	4年			
専門導入科目	基礎造形実習1A		2	実習	○						基礎造形実習1～4 計8単位を修得すること
	基礎造形実習2A		2	実習	○				*学科共通科目 空間デザイン領域開講科目		
	基礎造形実習3A		2	実習	○				*学科共通科目 空間デザイン領域開講科目		
	基礎造形実習4A		2	実習	○				*学科共通科目 空間デザイン領域開講科目		
	基礎造形実習2B		2	実習	○						
	基礎造形実習4B		2	実習	○						
	基礎造形実習3C		2	実習	○						
	基礎造形実習4C		2	実習	○						
	基礎造形実習2D		2	実習	○						
	基礎造形実習4D		2	実習	○						
	基礎造形実習1E		2	実習	○				*学科共通科目 空間デザイン領域開講科目		
空間デザイン基礎演習1		2	演習	○				領域共通科目		領域の基礎演習を 4単位修得すること	
空間デザイン基礎演習2		2	演習	○				領域共通科目			
専門基盤科目	空間デザイン演習5		2	演習			○		領域共通科目		領域共通および 各コースの専門基盤 科目32単位を修得 すること
	空間デザイン演習7		2	演習			○		領域共通科目		
	空間デザイン演習1-a		2	演習	○				住環境デザインコース科目		
	空間デザイン演習2-a		2	演習	○				住環境デザインコース科目		
	空間デザイン演習3-a		2	演習	○				住環境デザインコース科目	プロダクトコンピュータームライセンス	
	空間デザイン演習4-a		2	演習	○				住環境デザインコース科目	プロダクトコンピュータームライセンス	
	空間デザイン演習6-a		2	演習			○		住環境デザインコース科目	プロダクトコンピュータームライセンス	
	空間デザイン演習8-a		2	演習			○		住環境デザインコース科目	プロダクトコンピュータームライセンス	
	空間デザイン実習1-a		2	実習	○				住環境デザインコース科目		
	空間デザイン実習2-ab		2	実習	○				住環境デザインコース科目		
	空間デザイン実習3-a		2	実習	○				住環境デザインコース科目		
	空間デザイン実習4-ab		2	実習	○				住環境デザインコース科目		
	空間デザイン実習5-a		2	実習			○		住環境デザインコース科目		
	空間デザイン実習6-ab		2	実習			○		住環境デザインコース科目		
	空間デザイン実習7-a		2	実習			○		住環境デザインコース科目		
	空間デザイン実習8-a		2	実習			○		住環境デザインコース科目		
	空間デザイン演習1-b		2	演習	○				プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン演習2-b		2	演習	○				プロダクトデザインコース科目	プロダクトコンピュータームライセンス	
	空間デザイン演習3-b		2	演習	○				プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン演習4-b		2	演習	○				プロダクトデザインコース科目	プロダクトコンピュータームライセンス	
	空間デザイン演習6-b		2	演習			○		プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン演習8-b		2	演習			○		プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン実習1-b		2	実習	○				プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン実習2-ab		2	実習	○				プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン実習3-b		2	実習	○				プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン実習4-ab		2	実習	○				プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン実習5-b		2	実習			○		プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン実習6-ab		2	実習			○		プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン実習7-b		2	実習			○		プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン実習8-b		2	実習			○		プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン演習1-c		2	演習	○				コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン演習2-c		2	演習	○				コスチュームデザインコース科目		
空間デザイン演習3-c		2	演習	○				コスチュームデザインコース科目			
空間デザイン演習4-c		2	演習	○				コスチュームデザインコース科目			
空間デザイン演習6-c		2	演習			○		コスチュームデザインコース科目			
空間デザイン演習8-c		2	演習			○		コスチュームデザインコース科目			
空間デザイン実習1-c		2	実習	○				コスチュームデザインコース科目			
空間デザイン実習2-c		2	実習	○				コスチュームデザインコース科目			
空間デザイン実習3-c		2	実習	○				コスチュームデザインコース科目			
空間デザイン実習4-c		2	実習	○				コスチュームデザインコース科目			
空間デザイン実習5-c		2	実習			○		コスチュームデザインコース科目			
空間デザイン実習6-c		2	実習			○		コスチュームデザインコース科目			
空間デザイン実習7-c		2	実習			○		コスチュームデザインコース科目			
空間デザイン実習8-c		2	実習			○		コスチュームデザインコース科目			
科研専門	卒業研究1			演習			○				領域の専門分野を選択し て10単位を修得すること
	卒業研究2			演習			○				
芸術応用科目	空間デザイン概論		2	講義	○						空間デザイン概論、 空間デザイン論1を 修得すること 空間デザイン論2A～2F より3科目6単位を修得 すること
	空間デザイン論1		2	講義		○					
	空間デザイン論2A		2	講義							
	空間デザイン論2B		2	講義							
	空間デザイン論2C		2	講義							
	空間デザイン論2D		2	講義							
	空間デザイン論2E		2	講義							
空間デザイン論2F		2	講義								

学修システム・カリキュラム

空間デザイン領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

芸術学科 空間デザイン領域 住環境デザインコース スタンダードカリキュラム

学修システム・カリキュラム

空間デザイン領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

一級建築士受験資格講座科目

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専攻科 空間デザイン領域	必修科目 /10単位							卒業研究1	卒業研究2
	領域指定科目 / 54単位	基礎造形実習1E 布の立体造形 *領域共通科目 基礎造形実習2A 群造形(柱・壁・床) *領域共通科目 空間デザイン基礎演習1 フィールドワーク・リサーチマッピング *領域共通科目	基礎造形実習3A 脚のある造形 / 2-Way *領域共通科目 基礎造形実習4A 織・染・バスケットリー・空間表現 *領域共通科目 空間デザイン基礎演習2 断面図法と空間ドローイング *領域共通科目	空間デザイン実習1-a 小公園 フォーリー 空間デザイン実習2-ab 家具 身体を支える 空間デザイン演習1-a ヨシの造形 空間デザイン演習2-a 模型・トレース	空間デザイン実習3-a グリッドによるレストラン 空間デザイン実習4-ab ディスプレイ / ショップ 空間デザイン演習3-a ドローイング 3D 空間デザイン演習4-a 建築透視図法	空間デザイン実習5-a 子供のための空間 / 福祉空間 空間デザイン実習6-ab 照明器具 照明計画 空間デザイン演習5 ブランド プロデュース 空間デザイン演習6-a 建築製図	空間デザイン実習7-a 住宅の計画～非日常 / 多世代 空間デザイン実習8-a 公共空間 / インテリア 空間デザイン演習7 ショップ プロデュース 空間デザイン演習8-a ポートフォリオ		
	応用科目 /10単位	空間デザイン概論 空間デザイン入門		空間デザイン論1 マーケティング論	空間デザイン論2A <small>選択</small> ファッションデザイン論 空間デザイン論2B <small>選択</small> 空間表現論	空間デザイン論2C <small>選択</small> ユーザーインタフェース論 空間デザイン論2E <small>選択</small> 生産技術論	空間デザイン論2D 現代建築家論 空間デザイン論2F インテリアデザイン史		
	学部受講指定科目	大学入門1 スタディスキル実習1 スタディスキル実習2 ファウンデーション実習A1 ファウンデーション実習A2 ファウンデーション実習B1 キャリアデザイン概論1	大学入門2 スタディスキル実習3 スタディスキル実習4 ファウンデーション実習A3 ファウンデーション実習A4 ファウンデーション実習B2 キャリアデザイン概論2	コミュニティデザイン概論					
	選択受講指定科目	東洋・日本美術史概説A 西洋美術史概説A デザイン史概説A	東洋・日本美術史概説B 西洋美術史概説B デザイン史概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上					
				芸術応用科目 2科目4単位以上					
				地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上					
				キャリアデザイン科目 1科目2単位以上					

■ 芸術学科 空間デザイン領域 プロダクトデザインコース
スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専攻科 54単位	必修科目 10単位							卒業研究1	卒業研究2
	領域指定科目 54単位	基礎造形実習1E 布の立体造形 *領域共通科目 基礎造形実習2A 群造形(柱・壁・床) *領域共通科目 空間デザイン基礎演習1 フィールドワーク・リサーチマッピング *領域共通科目	基礎造形実習3A 脚のある造形 / 2-Way *領域共通科目 基礎造形実習4A 織・染・バスケットリー・空間表現 *領域共通科目 空間デザイン基礎演習2 断面図法と空間ドローイング *領域共通科目	空間デザイン実習1-b PD基礎～平面レイアウト・見立て・機構 空間デザイン実習2-ab 家具 身体を支える 空間デザイン演習1-b スケッチ&モデリング 空間デザイン演習2-b 工業製図・CAD	空間デザイン実習3-b 商品企画・ウェブショップ～雑貨、アクセサリー 空間デザイン実習4-ab ディスプレイ / ショップ 空間デザイン演習3-b 椅子実測図面 空間デザイン演習4-b ラインセロス 3DCG	空間デザイン実習5-b 生活機器 [知識・気づき]のデザイン 空間デザイン実習6-ab 照明器具 照明計画 空間デザイン演習5 ブランドプロデュース 空間デザイン演習6-b 先端技術 ワークショップ	空間デザイン実習7-b パブリックデザイン 空間デザイン実習8-b リサーチ&デザイン ユニバーサルデザイン 空間デザイン演習7 ショッププロデュース 空間デザイン演習8-b ユーザーインタフェース		
	応用科目 10単位	空間デザイン概論 空間デザイン入門		空間デザイン論1 マーケティング論	空間デザイン論2A <small>選択</small> ファッションデザイン論 空間デザイン論2B <small>選択</small> 空間表現論	空間デザイン論2C ユーザーインタフェース論 空間デザイン論2E 生産技術論	空間デザイン論2D <small>選択</small> 現代建築家論 空間デザイン論2F <small>選択</small> インテリアデザイン史	選択 1科目2単位 選択履修	
共通教育センター (学部共通) 科目	学部受講指定科目	大学入門1 スタディスキル実習1 スタディスキル実習2 ファウンデーション実習A1 ファウンデーション実習A2 ファウンデーション実習B1 キャリアデザイン概論1	大学入門2 スタディスキル実習3 スタディスキル実習4 ファウンデーション実習A3 ファウンデーション実習A4 ファウンデーション実習B2 キャリアデザイン概論2	コミュニティデザイン概論					
	選択受講指定科目	東洋・日本美術史概説A 西洋美術史概説A デザイン史概説A	東洋・日本美術史概説B 西洋美術史概説B デザイン史概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上					
				芸術応用科目 2科目4単位以上 地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上 キャリアデザイン科目 1科目2単位以上					

学修システム・カリキュラム

空間デザイン領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

芸術学科 空間デザイン領域 コスチュームデザインコース スタンダードカリキュラム

学修システム・カリキュラム

空間デザイン領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

一級建築士受験資格講座科目

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専攻科 /10単位	必修科目							卒業研究1	卒業研究2
		基礎造形実習1E 布の立体造形 *領域共通科目	基礎造形実習3A 脚のある造形/ 2-Way *領域共通科目	空間デザイン 実習1-c 服飾造形基礎1~ ミシン縫製	空間デザイン 実習3-c 服飾造形基礎2~ オリジナルコスチューム	空間デザイン 実習5-c 服飾造形表現1~ オリジナルコスチューム	空間デザイン 実習7-c オリジナルコスチューム~ トータルプロデュース		
専攻科 /54単位	領域指定科目 / 54単位	基礎造形実習2A 群造形(柱・壁・床) *領域共通科目	基礎造形実習4A 織・染・バスケットリー・ 空間表現 *領域共通科目	空間デザイン 実習2-c 染織造形基礎1~ 染	空間デザイン 実習4-c 染織造形基礎2~ 織	空間デザイン 実習6-c 服飾造形表現2~ 素材から発想した コスチューム	空間デザイン 実習8-c オリジナルコスチューム~ 実作・展開		
		空間デザイン 基礎演習1 フィールドワーク・ リサーチマッピング *領域共通科目	空間デザイン 基礎演習2 断面図法と 空間ドローイング *領域共通科目	空間デザイン 演習1-c 染織実験	空間デザイン 演習3-c 服飾造形演習	空間デザイン 演習5 ブランド プロデュース	空間デザイン 演習7 ショップ プロデュース		
専攻科 /10単位	応用科目	空間デザイン概論 空間デザイン入門		空間デザイン論1 マーケティング論	空間 デザイン論2A ファッション デザイン論	空間 デザイン論2C ユーザー インタフェース論	空間 デザイン論2D 現代建築家論	選択 1科目2単位 選択履修	
				空間 デザイン論2B 空間表現論	空間 デザイン論2E 生産技術論	空間 デザイン論2F インテリアデザイン史			
専攻科 /54単位	学部受講指定科目	大学入門1	大学入門2	コミュニティ デザイン概論					
		スタディ スキル実習1	スタディ スキル実習3						
専攻科 /54単位	学部受講指定科目	スタディ スキル実習2	スタディ スキル実習4						
		ファウンダー ション実習A1	ファウンダー ション実習A3						
専攻科 /54単位	学部受講指定科目	ファウンダー ション実習A2	ファウンダー ション実習A4						
		ファウンダー ション実習B1	ファウンダー ション実習B2						
専攻科 /54単位	学部受講指定科目	キャリア デザイン概論1	キャリア デザイン概論2						
専攻科 /54単位	選択受講指定科目	東洋・日本 美術史概説A	東洋・日本 美術史概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上					
		西洋 美術史概説A	西洋 美術史概説B						
専攻科 /54単位	選択受講指定科目	デザイン史 概説A	デザイン史 概説B						
				芸術応用科目 2科目4単位以上					
				地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上					
				キャリアデザイン科目 1科目2単位以上					

地域実践領域

■地域実践領域人材育成目標について

「芸術による社会への貢献」という基本理念のもとに、地域社会に能動的に関わり、未来の地域社会を形づくりに喜びを見いだす感性とそれぞれの個性に見合う創造能力を磨くことを、地域実践領域の人材目標の基本に置く。

■地域実践領域の特色・各課程での学びについて

この領域では、地域というフィールドを最大限に活かし、アクティブに活動し、楽しみながら現代の地域、社会を捉え、PBL（実践に基づく学習）を通じる能力開発によって、クリエイティブな感性や発想力を獲得する。同時に、地域で活躍する招聘教員や、キャリアサポート担当教員の力を借りて、自分の仕事や人生について能動的に考え、自己の資質を向上させ、社会的職業的な自立を目指すために必要な能力を育成する。

学びを通じて獲得する能力と態度

- ・フィールドで学ぶ実践力
- ・広く長い視野と着実な行動力
- ・多様なものに向き合うことによる創造力
- ・フィールド実践に鍛えられた協調性
- ・自己の世界観に支えられた生きる力

●専門導入課程（1年生）

- (1) 自己の外部にある自然や社会と関わりを通じて、人間および芸術、科学、文化が進化してきたことを理解し、外部世界と関わりながら自己の世界観を練り上げる態度を身につける。
- (2) 地域で多様な活動をしている人々に接し、その活動およびそれを支えている生き方について学び、自らの社会に関わる生き方を考える力を身につける。

●専門基盤課程（2～3年生）

- (3) 地域を総体として理解し、地域に能動的に関わるために、システム思考法を身につけ、地域に関わる多様なデータを読み取り、それに基づいたアクション・プラン、ビジネス・プランをデザインする能力を身につける。
- (4) 経済、社会、環境の繋がりがますます緊密化している中で、サステナビリティについて考え、サステナビリティに向かう、資源利用（環境との関わり）、人間関係（社会との関わり）およびアクションの経済的持続性（経済との関わり）を統合したアクションやビジネスのデザインができる力を身につける。
- (5) アクション・プラン^{※1}、ビジネス・プラン^{※2}を他のステイクホルダーと協調して実行できる資質を、実践的に身につける。

●専門研究課程（4年生）

- (6) 自らアクション・プラン、ビジネス・プランをデザインするとともに、それを実践するために説得的に表現できる力を身につける。
- (7) 自らデザインしたアクション・プラン、ビジネス・プランを他者とのダイアログ（対話）を通じて、さらに具体的、説得的なものに磨き上げる内省力を身につける。

※1 アクション・プラン＝プロジェクトなどの事おこしの実施計画

※2 ビジネス・プラン＝実施計画に基づいたプロジェクト全体の予算や人事等の運営計画

芸術学科 地域実践領域

カリキュラム	単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	受講方法
	必修	指定	選択		1年	2年	3年	4年			
専門導入科目	地域実践入門1		2		演習	○					領域の専門導入科目 12単位を修得すること
	地域実践入門2		2		演習	○					
	地域実践基礎演習1		2		演習	○					
	地域実践基礎演習2		2		演習	○					
	地域実践基礎演習3		2		演習	○					
	地域実践基礎演習4		2		演習	○					
専門基盤科目	地域実践学1		2		演習	○					領域の専門基盤科目 32単位を修得すること
	地域実践学2		2		演習	○					
	地域実践学3		2		演習		○				
	地域実践学4		2		演習		○				
	地域実践演習1		2		演習	○					
	地域実践演習2		2		演習	○					
	地域実践演習3		2		演習	○					
	地域実践演習4		2		演習	○					
	地域実践演習5		2		演習		○				
	地域実践演習6		2		演習		○				
	地域実践演習7		2		演習		○				
	地域実践演習8		2		演習		○				
	地域実践プロジェクト演習1		2		演習	○					
	地域実践プロジェクト演習2		2		演習	○					
専門研究科目	卒業研究1		4		演習			○			領域の専門研究科目 10単位を修得すること
	卒業研究2		6		演習			○			
芸術応用科目			2			○					他領域が受講指定する 芸術応用科目から 10単位を修得すること
			2				○				
			2					○			
			2					○			

学修システム・カリキュラム

地域実践領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

■ 芸術学科 地域実践領域 クリエイティブ・スタディーズコース スタandardカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
学修システム・カリキュラム	/ 必修科目 10単位							卒業研究1	卒業研究2
		地域実践学入門1	地域実践学入門2	地域実践学1	地域実践学2	地域実践学3	地域実践学4		
地域実践領域	専門科目 / 54単位	地域実践基礎演習1	地域実践基礎演習3	地域実践演習1	地域実践演習3	地域実践演習5	地域実践演習7		
		地域実践基礎演習2	地域実践基礎演習4	地域実践演習2	地域実践演習4	地域実践演習6	地域実践演習8		
		地域実践プロジェクト演習1~4							
芸術応用科目 / 10単位	領域指定科目 / 54単位	空間デザイン概要論		領域別理論科目	領域別理論科目	領域別理論科目	領域別理論科目		
学芸員課程科目	学部受講指定科目	大学入門1	大学入門2	コミュニティデザイン概論					
		スタディスキル実習1	スタディスキル実習3						
共通教育センター(学部共通)科目	選択受講指定科目	スタディスキル実習2	スタディスキル実習4						
		ファウンデーション実習A1	ファウンデーション実習A3						
		ファウンデーション実習A2	ファウンデーション実習A4						
		ファウンデーション実習B1	ファウンデーション実習B3						
		キャリアデザイン概論1	キャリアデザイン概論2						
		東洋・日本美術史概説A	東洋・日本美術史概説B	← 芸術基礎科目 4科目8単位以上					
		西洋美術史概説A	西洋美術史概説B						
		デザイン史概説A	デザイン史概説B						
		芸術応用科目 2科目4単位以上							
		地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上							
		キャリアデザイン科目 1科目2単位以上							

学修システム・カリキュラム

地域実践領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

共通教育センター科目（学部共通科目）

■共通教育センター科目（学部共通科目）

共通教育センター科目（学部共通科目）とは、基礎科目群、応用科目群、社会実践科目群、教養科目群から構成され共通教育センター所属の教員がこの科目群をバックアップしています。

①基礎科目群

芸術大学に進学した学生が等しく身につけるべき知識や技能を修得するために1年生全員が学ぶ科目で以下の科目で構成されます。

スタートプログラム科目……4年間の大学生活を自主的かつ円滑に進めるために必要な基礎学力を身につけるための科目です。
芸術基礎科目……芸術に対する認識の基盤となる理論の初歩を幅広く学び、広範な造形活動を支えるための科目です。
ファウンデーション科目……所属する領域に関係なく複数クラスに編成して、専門分野の枠を超えた教員組織の指導のもと、美術経験の多少にかかわらず、表現することの面白さを体感することを通して芸術学部共通の造形基礎を学ぶ科目です。「描く」「つくる」「発想する」の3つの基本的なテーマに沿って、実技、講義、ワークショップ、発表、合評などで授業を構成し、表現課程での工夫や発見を通して、視野を広げていく楽しさと柔軟な思考を養う「ファウンデーション実習A」やコンピュータの基礎を学ぶ「ファウンデーション実習B」があります。

②応用科目群

広範な芸術活動の専門性を理論的、実践的に支え、各領域の専門基盤課程、専門研究課程において必要とされる専門的知識・技能を養うために必要不可欠な科目群です。

③社会実践科目群

「芸術による社会への貢献」を実践する科目群で自分の将来の姿を実現に近づけるための、キャリア支援科目と芸術による社会貢献を実現するプロジェクトを単位化する地域貢献・プロジェクト科目があります。

④教養科目群

各学生の専門や志向に有益な学問領域について自主的に学ぶことができる科目群で、教養科目、外国語科目、単位互換事業科目で構成されます。

科目一覧	学 芸 員	教 職	単位数			形 授 態 業	配当学年 (望ましい履修学年)				特記事項 複数開講、通年開講、集中科目等について特記等	
			必修	指定科目	選択		1年	2年	3年	4年		
教養科目	現代社会論A	※			2	講義		○	○	○		
	現代社会論B				2	講義		○	○	○		
	法学(日本国憲法)		必修		2	講義	○	○	○	○		
	人権教育		必修		2	講義		○	○			
	ボランティアワーク1		必修		1	演習		○				
	ボランティアワーク2		必修		1	実習		○				
	哲学A	※			2	講義	○	○	○	○		
	哲学B				2	講義	○	○	○	○		
	宗教学A	※			2	講義	○	○	○	○		
	宗教学B				2	講義	○	○	○	○		
	文化人類学A	※	選択		2	講義		○	○	○		
	文化人類学B		選択		2	講義		○	○	○		
	文化史A	※	選択		2	講義		○	○	○		
	文化史B		選択		2	講義		○	○	○		
	心理学A				2	講義	○	○	○	○		
	心理学B				2	講義	○	○	○	○		
	深層芸術心理学A				2	講義		○	○			
	深層芸術心理学B	※			2	講義		○	○			
	考古学A		選択		2	講義	○	○	○	○		
	考古学B		選択		2	講義	○	○	○	○		
	美学A	※			2	講義		○	○	○		
	美学B				2	講義		○	○	○		
	人間関係実習A				1	実習	○	○	○	○		
	人間関係実習B				1	実習	○	○	○	○		
	健康体力論		選択		2	講義	○	○	○	○		
	スポーツ実習A		選択		1	実習	○	○	○	○		
	スポーツ実習B		選択		1	実習	○	○	○	○		
	スポーツ実習C		選択		1	実習	○	○	○	○		
	スポーツ実習D		選択		1	実習	○	○	○	○		
	スポーツ実習E		選択		1	実習	○	○	○	○		
	外国語科目	英語入門I				1	実習	○	○			
		英語入門II				1	実習	○	○			
		英語A		選択		1	実習	○	○	○	○	
		英語B		選択		1	実習	○	○	○	○	
		英語C	※	選択		1	実習	○	○	○	○	
		英語D		選択		1	実習	○	○	○	○	
		英語E		選択		1	実習	○	○	○	○	
		英語F	※	選択		1	実習	○	○	○	○	
		英語G		選択		1	実習	○	○	○	○	
英会話A		※	選択		1	実習	○	○	○	○		
英会話B		※	選択		1	実習	○	○	○	○		
英会話C			選択		1	実習	○	○	○	○		
英会話D			選択		1	実習	○	○	○	○		
英会話E			選択		1	実習	○	○	○	○		
日本語A					1	実習	○					
日本語B					1	実習	○					
日本語C				1	実習		○					
日本語D				1	実習		○					
地域貢献プロジェクト科目	コミュニティデザイン概論			2	講義		○					
	コミュニティデザイン論1			2	講義		○	○	○			
	コミュニティデザイン論2	※		2	講義		○	○	○			
	琵琶湖の民俗史		選択	2	講義	○	○	○	○			
	近江学A	※		2	講義	○	○	○	○			
	近江学B			2	講義	○	○	○	○			
	エコロジーと社会			2	講義		○	○	○			
	プロジェクト演習1A~1E			2	演習	○						
	プロジェクト演習2A~2E			2	演習		○					
	プロジェクト演習3A~3E			2	演習			○				
プロジェクト演習4A~4E			2	演習				○				
社会実践科目群 キャリアデザイン科目	キャリアデザイン概論1			1	講義	○						
	キャリアデザイン概論2			1	講義	○						
	キャリアデザイン論A			2	講義		○	○				
	キャリアデザイン論B			2	講義		○	○				
	就業力育成論1			1	講義		○					
	就業力育成論2			1	講義		○					
	就業力育成論3			1	講義			○				
	就業力育成論4			1	講義			○				
	就業力育成演習A			2	演習		○					
	就業力育成演習B			2	演習		○					
	就業力育成演習C			2	演習			○				
	就業力育成演習D			2	演習			○				
	ポートフォリオ演習			2	演習			○				
	インターンシップA			2	実習		○	○				
	インターンシップB			2	実習		○	○				
	コンピュータ実践講座A			1	実習	○	○	○	○			
	コンピュータ実践講座B			1	実習	○	○	○	○			
	英語実践講座A			1	実習	○	○	○	○			
英語実践講座B			1	実習	○	○	○	○				
英語実践講座C			1	実習	○	○	○	○				
色彩実践講座A			1	実習	○	○	○	○				
色彩実践講座B			1	実習	○	○	○	○				

① コミュニティデザイン概論を履修すること
② ①以外の科目を1科目2単位以上履修し、合計4単位を修得すること

① キャリアデザイン概論1及び2を履修すること
② ①以外の科目を1科目2単位以上履修し、合計4単位を修得すること

※科目については、平成30年度の開講はありません。科目概要については、平成29年度シラバスで確認することができます。必要な方は教務課で確認してください。

プロジェクト演習について

「芸術による社会への貢献」を教育理念とする本学では、地域貢献活動を具現化するために「結ぶ、つなげる、広げる」をテーマに、「学生・教員の教育、研究に貢献していること」「連携先の社会活動に貢献していること」「大学を含む地域社会全体に貢献していること」という3つの貢献を包括する事業をプロジェクトとして展開しています。

その中でも、学生の教育や教員の研究に資する内容があるものについては、本学の教育カリキュラムの一環として「プロジェクト演習」という科目(2単位の認定科目)を設定して、単位認定を行っています。

科目名は、「(例)プロジェクト演習1A」と呼び、数字「1」の部分は受講時期に合わせた学修目標のレベルを示し、アルファベットはプロジェクトの内容に準じるカテゴリを意味します。(下記を参考にしてください)

プロジェクトの受講時期に合わせた学修目標のレベル表

	専門導入課程	専門基盤課程			専門研究課程
	1年生	2年生	3年生	4年生	
	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	
科目名	プロジェクト演習1A	プロジェクト演習2A	プロジェクト演習3A	プロジェクト演習4A	
	プロジェクト演習1B	プロジェクト演習2B	プロジェクト演習3B	プロジェクト演習4B	
	プロジェクト演習1C	プロジェクト演習2C	プロジェクト演習3C	プロジェクト演習4C	
	プロジェクト演習1D	プロジェクト演習2D	プロジェクト演習3D	プロジェクト演習4D	
	プロジェクト演習1E	プロジェクト演習2E	プロジェクト演習3E	プロジェクト演習4E	

プロジェクトのカテゴリ

A:歴史・地域 B:デザイン C:文化・芸術 D:教育・福祉 E:プロデュース

学修目標のめやす

学修目標は学年ごとに設定された以下の学修目標と、カテゴリごとの開講目的への理解などから構成されます。以下の学修目標は一般的な一例です。プロジェクトによってその内容は変わります。

< 学年 >

< 目標例 >

- 1年生 …… 積極的にプロジェクトに参加し、共同作業を行う
- 2年生 …… 与えられた役割を理解し、自らの意思で作業を行う
- 3年生 …… 参加するプロジェクトの内容を理解し、企画・立案ができる
- 4年生 …… リーダーとしてプロジェクトを牽引する、またはフォロワーとしてプロジェクトを遂行する
地域文化とその背景を理解し、自らの表現が社会と対峙できているかを理解できる

プロジェクト科目の履修登録から単位認定まで

プロジェクト科目は履修登録ガイダンス時に、開講するプロジェクトのシラバスを公開します。

- ⇒シラバスを確認して履修登録を行います。
- ⇒初回の授業で担当教員からガイダンスを受けます。
- ⇒ガイダンスでは、「プロジェクトレポート」の説明を受けます。
- ⇒「プロジェクトレポート」とは、そのプロジェクトにおける自分の目標や、進行状況や取り組み状況、プロジェクトの結果、まとめなどを写真や図表も交えてわかりやすくまとめるポートフォリオのようなものです。授業が開始すると同時にレポートの作成を始めます。
- ⇒プロジェクトが終了したら、担当教員の指示を受け、指定の期日までに「プロジェクトレポート」を教務課に提出します。
- ⇒担当教員がレポートを確認して到達目標を判断し、目標レベルに到達していると判断されれば「認定」となり、成績表には「N」と記され、2単位が取得単位として認定されます。

平成30年度に開講が予想されるプロジェクト

- ・近江里山フィールドワーク(担当:今森 光彦客員教授監修)
 - ・大津祭曳山連盟公式キャラクター「ちま吉」プロジェクト(担当:田中 真一郎・加藤 賢治)
 - ・大津市歴史博物館おもちゃづくりワークショッププロジェクト(担当:宇野 君平・渋谷 亮)
- 他、合計15科目程度のプロジェクト演習が開講される予定です。履修登録ガイダンスで募集を開始します。

就職を希望する場合のスタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
キャリアデザイン科目	学部受講	キャリアデザイン概論1 キャリアデザイン概論2							
	選択科目			就業力育成論1 就業力育成論2	就業力育成論3 就業力育成論4	就業力育成論3 就業力育成論4	就業力育成論3 就業力育成論4	就職活動	
				就業力育成演習A インターンシップ	就業力育成演習B インターンシップ	就業力育成演習C ポートフォリオ演習 インターンシップ	就業力育成演習D インターンシップ		
		入学してきた動機を見つめ直し、この大学時代に何を、何のためにどう学ぶかを考えます。将来のビジョンを明確にすることで、より学びの意識が高まります。		芸術と関わりながら、社会に貢献出来る人材を目指し知識と技術を学びます。社会そして社会人との接点も持ちつつ、自分の将来像をさらに明確にしていきます。		3月からの就職活動を見据え、自分自身の特徴や強みを初対面の人にもわかりやすく伝える知識とスキルを学びます。ポートフォリオに関する指導や、選考の体験ワークショップなど実践的な学びも多く用意しています。		キャリアサポートセンターでの個別指導を中心に、随時サポート講座や直接企業と出会う機会を提供します。内定が出るまで、小規模大学ならではの手厚いフォローが受けられます。	

就業力育成論 1

就業力向上につながる、協働作業における様々なスキルや問題解決思考を学ぶ

担当教員名 濱中 倫秀

受講対象・履修要件 将来の進路(就職)について意欲的に考える2年生、就業力育成演習Bとの同時履修を推奨します。

授業概要及び目的

大学生活や将来の社会生活の中で、避けては通れない「共同での取り組み(グループワーク)」についてのスキルを学びます。インターネットの情報だけを鵜呑みにせず、様々な情報ソースから判断をすることの大切さや、課題に対する解決策を、本質を見失うことなく考えるための方法を学びます。

到達目標

- (1) 社会生活で求められる基本的なマナーや常識を理解し、共同作業において実践できる。
- (2) 様々な情報を分析し、本質的な問題をに対する解決提案ができる。

授業計画

1. 講義のオリエンテーション共同作業のコツと作法常識やマナーはなぜ必要か 9/18(火)
2. //
3. 社会で生きる力① 様々な世代間ギャップ 9/25(火)
4. //
5. 社会で生きる力② 様々なプレゼンテーションツール 10/2(火)
6. //
7. 社会で生きる力③ 顧客のメリットとベネフィットを考える 10/16(火)
8. //
9. 社会で生きる力④ ロジカル・プレゼンテーション 10/23(火)
10. //
11. 社会で生きる力⑤ ロジカル・プレゼンテーション 10/30(火)
12. //
13. 前半のまとめ 11/6(火)
14. //
15. レポート及び講義内試験 11/13(火)

準備学習

将来の進路についての意識をもち、毎回講義の最後に提示する課題について、事前準備(予習)をしっかりとしておくこと。

成績評価方法・基準

6回以上の出席をもって評価対象とします。(欠席3回は不可)成績は授業態度30%(受講態度・取り組み姿勢)、レポート20%、講義内試験50%で評価します。提出したレポートや試験は、後日共通教育センターで返却するので各自取りに行くこと。

テキスト・参考図書・材料費

講義の補助資料等は随時配付します。また、講義用ノートを1冊作成し提出すること。詳細は初回講義にて説明します。

履修上の注意・ライセンスなど

チャイムがなった時点で着席していない場合は遅刻となり、50%評価を減点します。また、30分以上の遅刻出席は欠席扱いとなりますので注意してください。欠席した際の資料等は、共通教育センターに取りに行き、各自リカバーしてください。(配付資料がない回もあります)

就業力育成論 2

就業力向上につながる、協働作業における様々なスキルや問題解決思考を学ぶ

担当教員名 濱中 倫秀

受講対象・履修要件 将来の進路(就職)について意欲的に考える2年生、就業力育成演習Bとの同時履修を推奨します。

授業概要及び目的

大学生活や将来の社会生活の中で、避けては通れない「共同での取り組み(グループワーク)」についてのスキルを学びます。世代や立場・人によって異なる物事の見方を知り、相手の立場に立って問題解決をするための方法を学びます。また、仕事における「真の顧客満足」とは何なのかを考え、深めていきます。

到達目標

- (1) 自分以外の多様な価値観を、否定せず受容できる。
- (2) 共同作業の場面で、自分が何をすべきか能動的に考え実践できる。
- (3) 顧客が本当に求めていることは何なのか、という問題意識を常に持つことができる。

授業計画

1. 講義のオリエンテーション 11/13(火)
2. //
3. なぜ問題解決スキルが求められるか 11/20(火)
4. //
5. 多様な価値観① 共同作業において自分の強みを生かす 11/27(火)
6. //
7. 多様な価値観② 共同作業をデザインする 12/4(火)
8. //
9. 顧客サービスと価値を考える① 12/11(火)
10. //
11. 顧客サービスと価値を考える② 12/18(火)
12. //
13. 後半のまとめ 12/25(火)
14. //
15. レポート及び講義内試験 1/8(火)

準備学習

将来の進路についての意識をもち、毎回講義の最後に提示する課題について、事前準備(予習)をしっかりとしておくこと。

成績評価方法・基準

6回以上の出席をもって評価対象とします。(欠席3回は不可)成績は授業態度30%(受講態度・取り組み姿勢)、レポート20%、講義内試験50%で評価します。提出したレポートや試験は、後日共通教育センターで返却するので各自取りに行くこと。

テキスト・参考図書・材料費

講義の補助資料等は随時配付します。また、講義用ノートを1冊作成し提出すること。詳細は初回講義にて説明します。

履修上の注意・ライセンスなど

チャイムがなった時点で着席していない場合は遅刻となり、50%評価を減点します。また、30分以上の遅刻出席は欠席扱いとなりますので注意してください。欠席した際の資料等は、共通教育センターに取りに行き、各自リカバーしてください。(配付資料がない回もあります)

学芸員課程科目

■学芸員とは

博物館には、博物館法に基づき、資料の収集・保管・展示・調査・研究など、これらに関連する事業についての専門的事項をつかさどる職員として、学芸員をおこななければなりません。学芸員の有資格者には、博物館の事業に類する機関として、美術館、資料館などにおいて、専門職としての職域が開かれています。

■学芸員資格の取得条件

学芸員となる資格を得るためには「博物館法」第5条第1項第1号および本学が定めた規定に基づき、以下の条件を満たしてください。

- 1) 学芸員課程履修届を提出し、所定の学芸員課程履修費を納めていること。
 - 2) 学士の学位を有すること（所属学部学科を卒業すること）。
 - 3) 学芸員課程で定めた科目の単位を修得していること。
- 以上、3つの条件を満たした者には、卒業時に「学芸員資格証明書」を授与します。

■学芸員の基礎資格・最低修得科目数および単位数

基礎資格	法定基準	本学における最低修得科目および単位数
学士の学位を有する者	必修科目・単位 9科目 19単位	必修科目・単位 11科目 19単位
	選択科目・単位 2系列 4単位	選択科目・単位 2系列 2科目 4単位

■学芸員の基礎資格・最低修得科目数および単位数

科目名	単位数		授業形態	学年	学期	特記事項	
	必修	選択					
必修科目	博物館概論	2		講義	学芸員課程1年生	後期	
	生涯学習概論	2		講義	学芸員課程1年生	後期集中	
	博物館展示論	2		講義	学芸員課程2年生	前期	
	博物館資料論	2		講義	学芸員課程2年生	後期	
	博物館情報・メディア論	2		講義	学芸員課程2年生	後期	
	博物館教育論	2		講義	学芸員課程2年生	後期集中	
	博物館資料保存論	2		講義	学芸員課程3年生	前期	
	博物館経営論	2		講義	学芸員課程3年生	後期	
	博物館実習1	1		実習	学芸員課程3年生	前期	
	博物館実習2	1		実習	学芸員課程3年生	後期	
博物館実習3	1		実習	学芸員課程4年生	集中	博物館実習1・2履修済要件	
選択科目	東洋・日本美術史概説A		2	講義	美術史系列	2系列以上より 2科目4単位以上を 選択必修	
	東洋・日本美術史概説B		2	講義			
	西洋美術史概説A		2	講義			
	西洋美術史概説B		2	講義			
	デザイン史概説A		2	講義			
	デザイン史概説B		2	講義			
	工芸史 ※		2	講義			
	文化史A ※		2	講義	文化史系列		
	文化史B ※		2	講義			
	考古学A ※		2	講義	考古学系列		
	考古学B ※		2	講義			
	琵琶湖の民俗史		2	講義	民俗学系列		
文化人類学A ※		2	講義				
文化人類学B ※		2	講義				

※ この科目は隔年開講となります。

■学芸員課程4年間の予定

1年次	4月	履修計画に基づき、【前期】選択科目を履修登録
	7月	履修ガイダンス(学芸員課程概要・履修方法を説明)に必ず参加
	9月	履修登録ガイダンスに参加履修計画に基づき、【後期】必修科目・選択科目を履修登録 学芸員課程履修届提出、学芸員課程履修費(10,000円)を納付
2年次	(3月)~4月	履修計画に基づき、【前期】必修科目・選択科目を履修登録 学芸員課程履修費(10,000円)を納付
	9月	履修計画に基づき、【後期】必修科目・選択科目を履修登録
3年次	(3月)~4月	履修計画に基づき、【前期】必修科目・選択科目を履修登録 学芸員課程履修費(10,000円)を納付
	7月頃	現地美術研修(1泊2日)・研修費用の個人負担有
	夏期休暇中	館務実習先の開拓・調査・研究
	9月	履修計画に基づき、【後期】必修科目・選択科目を履修登録 館務実習先希望調査票の提出(教務課)
4年次	(3月)~4月	履修ガイダンス(館務実習先の発表、注意事項など) 履修計画に基づき、【前期】必修科目・選択科目を履修登録 学芸員課程履修費(10,000円)及び館務実習保険料(340円)を納付
	5月~11月	館務実習実施(各館 1週間から 2週間程度)
	6月~12月	館務実習終了後、実習ノート・レポート・データを提出(教務課)
	9月	履修計画に基づき、【後期】必修科目・選択科目を履修登録
	2月	学芸員資格証明書授与判定
	3月	学芸員資格証明書授与(卒業時)

注意

- 1) 日程は予定であり、学年暦・各種行事等により変更される場合があります。
- 2) 学芸員課程履修費は改訂される場合があります。
- 3) 他、必要な情報は、成安情報サービスにてお知らせをしますので、定期的に確認をするようにしてください。

教職課程科目

■教職課程の履修のしかた

近年、新規の教員採用は年々減少しており、国立の教員養成大学の統廃合が検討されるなど、教員を志望する学生にとってはますます厳しい状況となっています。また、教育現場では「学級崩壊」「いじめ問題」など教員の指導力・資質を問うさまざまな問題も生じています。このような状況の中、将来教員を志望する熱意ある学生を対象に教職課程を開設します。成安造形大学で教職課程を履修するためには、

1. 将来、教育職につくという強固な意志をもつ。
2. 制作・研究活動と両立させる。

という心構えが、必要不可欠です。特に、制作・研究活動との両立は、精神的にもまた、体力的にも相当の覚悟を必要とします。

「友人が誘うから」「両親が勧めるから」「免許だけでも取っておこう」といった安易な気持ちで履修すると、次第に重荷になり教員免許取得に必要な単位が修得できないという事態を招きかねません。

以上のことから、本学では非常に厳しい履修上の条件を独自に設定しています。教職課程の履修を希望する学生は、1年生前期で十分に考えをまとめて7月末の教職課程履修ガイダンスに出席し、そこで配付される詳細な履修要項を十分理解した上で、履修を決定してください。

■本学で取得できる教育職員免許状

(1) 本学で取得できる教育職員免許状の種類は次のとおりです。

学部・学科	免許状の種類
芸術学部 芸術学科	中学校教諭1種免許状(美術)
	高等学校教諭1種免許状(美術)

ただし、本学では中学校・高等学校免許状の同時取得(両方取得する)を原則とし、カリキュラムを構成しています。

(2) 教育職員免許状の授与要件

「教育職員免許法」ならびに「同法施行規則」で定められている免許状授与のための要件は以下のとおりです。

- ① 基礎資格 学士の学位を有すること。
- ② 大学において修得することを必要とする最低単位数(法定基準)

「教科に関する科目」	20単位		
「教職に関する科目」	中1種免:31単位	高1種免:23単位	
「教科又は教職に関する科目」	中1種免:8単位	高1種免:16単位	
「日本国憲法」	2単位		
「体育」	2単位		
「外国語コミュニケーション」	2単位		
「情報機器の操作」	2単位		
- ③ 中学校教諭1種免許状を取得するためには、7日間以上の「介護等体験」が必要。(免許申請時に証明書が必要)
以上の要件は、国が定める最低条件であり、本学では教職課程履修案内で詳細を掲載しています。

■教職課程におけるインターンシップについて

教職課程では、教育実習や介護等体験などの実習に加えて、学校現場でのインターンシップを実施しています。教職課程におけるインターンシップには以下の二つの種類があります。

- ① 教育実習に向けたインターンシップ:
3年次から履修する「教育実習事前事後指導」のなかで、教育実習に向けた現場体験として、大学近隣の小中学校で4日程度の「学校現場体験」を行います。詳細はシラバス「教育実習事前事後指導」の授業計画を確認してください。
- ② 教育職に就く人のためのインターンシップ:
教育職に就く意志が固まった人のために、教育実習後の4年生後期に、大学近隣の中学校で10日間の実習体験を行います。社会実践科目群「インターンシップA・B」として単位認定されます。児童生徒の指導をはじめ、教育実習では十分に体験しきれない様々な学校業務(授業は含みません)を通して、より一層教育現場の理解と自己課題の発見に努めることを目的としています。将来、教育職を就くことを考えている学生に対して、4年生の5・6月に個別に履修推奨を行います。シラバス「インターンシップA・B」とは授業計画が異なりますので、質問や詳細は教職課程合同研究室まで確認してください。

■教職課程開講科目ならびに履修方法

※以下に記載の科目は開講予定科目です。詳細は、教職課程ガイダンス(7月に実施)にて配付の履修案内を参照してください。

	免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	授業の種類	単位数	開講年次	備考
「教科に関する科目」 ・法定基準 ・本学基準 科目区分ごとに1単位以上、合計20単位以上修得 指定した基準を満たし、合計22単位以上修得	絵画 (映像メディア表現を含む)	○基礎造形実習1A	実習	2	1年	○の科目から1科目修得すること
		○絵画演習	演習	2	2～4年	
		イラストレーション基礎演習1	演習	2	1年	
		美術実習1-a	実習	2	2年	
	彫刻	○基礎造形実習2A	実習	2	1年	○の科目から1科目修得すること
		○彫刻演習	演習	2	2～4年	
		美術実習1-b	実習	2	2年	
	デザイン (映像メディア表現を含む)	○基礎造形実習3A	実習	2	1年	○の科目から1科目修得すること
		○デザイン演習	演習	2	1～4年	
		情報デザイン演習3	演習	2	2年	
		情報デザイン演習7	演習	2	2年	
	工芸 (中1種免のみ)	○基礎造形実習4A	実習	2	1年	○の科目から1科目修得すること ※高1種免取得用単位には含まれません。
		○工芸演習	演習	2	2～4年	
	美術理論及び美術史 (鑑賞並びに日本の 伝統美術及びアジアの 美術を含む)	○東洋・日本美術史概説A	講義	2	1～4年	○の科目を3科目修得すること ※3年次までに単位を修得すること。
		○西洋美術史概説A	講義	2	1～4年	
		○美術概論	講義	2	1～4年	
		東洋・日本美術史概説B	講義	2	1～4年	
		西洋美術史概説B	講義	2	1～4年	
		デザイン史概説A	講義	2	1～4年	
		デザイン史概説B	講義	2	1～4年	
		日本美術史A	講義	2	1～4年	
		日本美術史B	講義	2	1～4年	
西洋美術史A		講義	2	1～4年		
西洋美術史B		講義	2	1～4年		
現代美術論A		講義	2	2～4年		
現代美術論B	講義	2	2～4年			

※科目区分ごとに指定した○印の科目を修得した上で、22単位以上修得してください。

※表中の単位はすべて卒業に必要な単位として算入されます。

	免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	授業の種類	単位数	開講年次	備考
「教職に関する科目」 ・法定基準 ・本学基準 高1種免・中1種免・31単位以上、 右表の33単位修得	教職の意義に関する科目	○教職入門	講義	2	1年	
	教育の基礎理論に関する科目	○教育原理	講義	2	2年	
		○教育心理学	講義	2	3年	
		○教育制度論	講義	2	1年	
		○教育課程・特別活動論	講義	2	2年	
	教育課程及び指導法に関する科目	○美術科教育法1	講義	2	2年	
		○美術科教育法2	講義	2	2年	原則「美術科教育法1」履修済要件
		○美術科教育法3	講義	2	3年	原則「美術科教育法1、2」履修済要件
		○美術科教育法4	講義	2	3年	原則「美術科教育法1、2、3」履修済要件
		○道德教育の研究	講義	2	2年	
		○教育方法の研究	講義	2	2年	
		○生徒指導の研究	講義	2	3年	
	生徒指導、教育相談及び 進路指導等に関する科目	○教育相談	講義	2	3年	
		○教育実習	実習	1	3年と4年	3年生後期、4年生前期 不定期開講
教育実習	○教育実習A	実習	2	4年	不定期集中	
	○教育実習B	実習	2	4年	不定期集中	
	○教職実践演習	演習	2	4年	教育実習履修要件	

※○印は教職課程履修者必修科目です。定められた年次に必ず修得してください。

※本学は、中学校教諭1種免許状(美術)ならびに高等学校教諭1種免許状(美術)を同時取得する課程ですので、上記表中すべての科目の単位(合計33単位)を修得してください。

※上記の単位は卒業に必要な単位には算入されません。

※「道德教育の研究」は中1種免取得時には、「教職に関する科目」の単位として算入され、高1種免取得時には「教科又は教職に関する科目」の単位として算入されます。

	免許法施行規則に定める 科目区分	授業科目	授業の 種類	単 位 数	開講年次	備 考
「教科又は教職に関する科目」 ・法定基準 中1種免：8単位以上、 高1種免：16単位以上	教科又は教職に関する科目	○道徳教育の研究	講義	2	2年	※高1種免のみ
		○ボランティアワーク1	演習	1	2年	介護等体験事前授業、不定期開講
		○ボランティアワーク2	実習	1	3年	介護等体験実施(各自)、事後指導
		○人権教育	講義	2	2年	

※○印は教職課程履修者必修科目です。定められた年次に必ず修得してください。

※「道徳教育の研究」は中1種免取得時には、前ページの「教職に関する科目」の単位として算入され、高1種免取得時には「教科又は教職に関する科目」の単位として算入されます。

※「ボランティアワーク1」並びに「ボランティアワーク2」と「人権教育」は卒業に必要な単位に算入されます。

※上記表中必修科目の単位すべてと、法定基準を超えて履修した「教科に関する科目」および「教職に関する科目」の単位をあわせて中1種免は8単位以上、高1種免は16単位以上修得してください。

	免許法施行規則に定める 科目区分	授業科目	授業の 種類	単 位 数	開講年次	備 考
「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」 ・法定基準 ・本学基準 各科目2単位、合計4科目8単位修得 各科目2単位もしくは2単位以上合計4科目8単位以上修得	日本国憲法	○法学[日本国憲法]	講義	2	1～4年	
	体 育	スポーツ実習A	実習	1	1～4年	これらの科目より2科目以上選択必修 ※講義と実習を選択するのが望ましい
		スポーツ実習B	実習	1	1～4年	
		スポーツ実習C	実習	1	1～4年	
		スポーツ実習D	実習	1	1～4年	
		スポーツ実習E	実習	1	1～4年	
		健康体力論	講義	2	1～4年	
	外国語コミュニケーション	英語A	実習	1	1～4年	これらの科目より2科目以上選択必修
		英語B	実習	1	1～4年	
		英語C	実習	1	1～4年	
		英語D	実習	1	1～4年	
		英語E	実習	1	1～4年	
		英語F	実習	1	1～4年	
		英語G	実習	1	1～4年	
		英会話A	実習	1	1～4年	
		英会話B	実習	1	1～4年	
		英会話C	実習	1	1～4年	
	情報機器の操作	ファウンデーション実習B1	実習	1	1～4年	これらの科目より2科目以上選択必修 ※1年生でB1、B2を履修修得するのが望ましい
		ファウンデーション実習B2	実習	1	1～4年	
		ファウンデーション実習B3	実習	1	1～4年	

※○印は教職課程履修者必修科目です。○印以外の科目も選択必修科目です。備考欄の基準にしたがって履修してください。

※上記表中の科目はすべて卒業に必要な単位に算入されます。

■【教職課程】平成30年度の予定

	1年次	2年次	3年次	4年次
4月	新入生ガイダンス (資格課程紹介) 教職課程履修相談	教職課程継続手続き (履修費用納付) 4/2~4/16 個別履修相談	教職課程継続手続き (履修費用納付) 4/2~4/16 個別履修相談 教育実習希望先連絡 訪問開始(7月末までに)	教職課程継続手続き (履修費用納付) 4/2~4/16 個別履修相談 教育実習正式依頼 教育実習事前事後指導開始
5月			介護等体験開始(随時実施)	教員採用試験願書受付開始(4月から) 教育実習開始(通年随時実施) 教職インターンシップ受講決定
6月				教育実習期間
7月	教職課程履修ガイダンス 7/20(金)12:30 028			教員採用試験 (各都道府県)
8月				教職インターンシップ開始 (8月末~9月 2週目)
9月	前期成績表配付 後期履修登録指導 個別履修相談 教職課程登録(履修費用納付) 9/6~9/21	前期成績表配付 後期履修登録 個別履修相談 ボランティアワーク1開始	前期成績表配付 後期履修登録 個別履修相談 教職ミーティング (教育実習報告を聞く) 9/7(金) 028	前期成績表配付 後期履修登録・履修相談 教育実習事前事後指導(教育実習報告) 9/7(金) 028 教育実習期間 教職実践演習開始
10月			学校現場体験開始	教育実習期間
11月				教員免許状申請ガイダンス (一括申請手続き説明・授業内)
12月				
1月				教員免許状一括申請 手続き期間 1/22~1/24
2月				教員免許申請該当者決定
3月	2019年度 新2年生教職課程 ガイダンス3月末 15:00~ 028 次年度前期履修登録	2019年度 新3年生教職課程 ガイダンス3月末 15:00~ 028 次年度前期履修登録 介護等体験正式申込開始	2019年度 新4年生教職課程ガイ ダンス3月末 16:40~ 028 次年度前期履修登録	教員免許状授与 (卒業時)

学修システム・カリキュラム

専門科目

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

二級建築士受験資格講座

二級建築士受験資格講座は平成26(2014)年度以降入学生から適用されています。
 ※平成25(2013)年度以前の入学生は、指定科目が違いますので、領域担当教員に確認して下さい。

■二級建築士受験資格講座

二級建築士、木造建築士の受験資格を得るために必要な、本学が指定する科目（下記表※印科目）を履修するために開講する講座です。※印科目を授業するためには二級建築士受験資格講座に登録する必要があります。

■二級建築士とは

都道府県知事の免許を受け、二級建築士の名称を用いて、設計、工事監理等の業務を行う者

■木造建築士とは

都道府県知事の免許を受け、木造建築士の名称を用いて、木造の建築物に関し、設計、工事監理等の業務を行う者

■二級建築士受験資格

本学の指定する以下の科目（国土交通大臣の指定する建築に関する科目）を修めて卒業した者に対して受験資格を取得することが出来ます。ただし取得した単位数によっては建築実務の経験年数が必要になる場合があります。

資格課程科目(二級建築士受験資格) ※平成26(2014)年度以降入学生

指定科目の分類	科目名	授業形態	単位数	配当学年				受験資格取得 必要単位数	特記事項
				1年	2年	3年	4年		
①建築設計製図	空間デザイン演習2-a	演習	2		○			5単位以上	
	空間デザイン演習4-a	演習	2		○				
	空間デザイン演習6-a	演習	2			○			
②～④建築計画、建築環境工学 又は建築設備	西洋建築史	講義	2		○	○	○	7単位以上	
	日本建築史	講義	2		○	○	○		
	住居・住宅論 ※	講義	3		○	○	○		
⑤～⑦構造力学、建築一般構造 又は建築材料	建築構造演習1 ※	演習	2			○	○	6単位以上	
	住宅一般構造 ※	講義	2			○	○		
	建築構造演習2 ※	演習	2			○	○		
⑧建築生産	建築施工 ※	講義	1			○	○	1単位以上	
⑨建築法規	住居と法律 ※	講義	1			○	○	1単位以上	
⑩その他	空間デザイン基礎演習2	演習	2	○				適宜	
	空間デザイン演習3-a	演習	2		○				
	空間デザイン演習8-a	演習	2			○			
	基礎造形実習2A	実習	2	○					
	空間デザイン実習1-a	実習	2		○				
	空間デザイン実習3-a	実習	2		○				
	空間デザイン実習4-a b	実習	2		○				
	空間デザイン実習5-a	実習	2			○			
	空間デザイン実習7-a	実習	2			○			
図法演習	演習	2		○	○	○			
				必要な実務経験年数0年				40単位以上	
				必要な実務経験年数1年				30単位以上	
				必要な実務経験年数2年				20単位以上	

※印の科目を履修するには、二級建築士受験資格講座の登録が必要になります。

住居・住宅論、建築構造演習2、建築施工、住居と法律は平成30年度の開講はありません。科目概要については、平成29年度シラバスで確認することができます。